

平成 17 年 度

帯広市一般・特別会計主要な施策の成果

目 次

第1章 安心安全都市	1
第2章 産業複合都市	21
第3章 環境共生都市	37
第4章 生涯学習都市	49
第5章 広域連携都市	65
第6章 市民自治と自治体経営	73

第 1 章 安心安全都市

第1節 保健・医療

1. 保健予防活動の充実

(1) 市民の健康づくり

老人・身体障害者等に対する各種の福祉サービス及び市民に対する保健サービスの提供を行った。

- ・総合福祉センター利用状況

区 分	保健	老人	身体障害者	母子	一般	市機関	合計
件数(件)	880	1,609	452	335	175	52	3,503
人数(人)	33,871	78,095	7,322	5,891	3,254	1,931	130,364

【保健福祉部 保健課】

(2) 感染症などの予防

予防接種実施状況

区 分	ジフテリア・百日咳・破傷風	ジフテリア・破傷風	急性灰白髄炎(ポリオ)	風しん	麻しん
接種者数(人)	5,595	777	2,734	2,329	1,546

結核検診実施状況

区 分	B C G接種	間接撮影
受診者数(人)	1,395	5,856

インフルエンザ予防接種実施状況

- ・中学3年生、高校3年生 接種者数 2,444人
- ・高齢者(65歳以上対象) 接種者数 15,076人

【保健福祉部 保健課】

(3) 保健センターの充実

北海道森林管理局の旧庁舎を取得し、保健福祉センターとして改修工事を行い、健康づくり支援、子育て・療育支援、高齢者・障害者支援の機能を持つ保健福祉サービスの中核的施設として整備した。

所在地	帯広市東8条南13丁目1番地	開館年月日	平成18年4月1日
構造	本館：木造3階建	敷地面積	1,382.60m ²
	別館：鉄筋コンクリート造2階建	延床面積	5,400.57m ²
	別棟：鉄骨造2階建		

【保健福祉部 健康生活支援システム課】

2. 成人保健活動の充実

(1) 生活習慣病の予防

健康教育実施状況

区分	婦人会	老人クラブ	町内会	職域・その他	健康講座など	合計
回数(回)	3	45	12	33	53	146
人数(人)	35	1,537	201	1,276	978	4,027

個別健康教育(高脂血症・高血圧・糖尿病・禁煙)

・実人数 30人 延人数 107人

健康相談実施状況

・実施回数 18回 人数 171人

検診実施状況

区分		検診日数	受診者数
胃がん検診	集団	102日	5,270人
	施設	12ヵ月	962人
子宮がん検診	集団	11日	720人
	施設	12ヵ月	587人
乳がん検診	集団	101日	1,801人
	施設	12ヵ月	491人
前立腺がん検診	集団	102日	5,614人
肺がん検診	集団	102日	5,288人
大腸がん検診	集団	102日	5,950人
	施設	12ヵ月	3,991人
基本健康診査	集団	102日	919人
	施設	12ヵ月	256人
肝炎検査	集団	102日	199人
	施設	12ヵ月	104人
市民健康診査	施設	12ヵ月	136人

【保健福祉部 保健課】

(2) 寝たきり・認知症の予防

訪問指導事業

・訪問指導実施状況

区分	健康診査の 要指導者等	閉じこもり 予防	介護家族者	寝たきり者	認知症老人	その他	合計
実人数(人)	27	24	31	3	9	14	108
延人数(人)	74	61	112	7	40	57	351

機能訓練事業

・実施回数 146回 実人数 85人 延人数 3,525人

介護予防個別評価事業

・実施回数 24回 実人数 23人 延人数 446人

いきいき温泉事業

・実施回数 82回 実人数 70人 延人数 964人

【保健福祉部 保健課】

(3) 精神保健対策の充実

通所授産施設運営費補助 1件
 障害者地域生活支援事業補助 1件
 共同作業所運営費補助 5件
 回復者クラブ活動事業委託 6件
 共同住居運営費補助 11件
 地域参加ふれあい交流事業補助 1件
 施設通所交通費助成 延 5,663人

【保健福祉部 障害福祉課】

(4) 難病対策の充実

エキノコックス症検査実施状況

区分	一般	児童・生徒
血清検査(人)	58	7

【保健福祉部 保健課】

3. 母子保健活動の充実

(1) 妊産婦及び乳幼児の健康

乳幼児健康診査

区分	対象数(人) A	受診数(人) B	受診率(%) B/A	有所見数(人) C	有所見率(%) C/B
4か月児	1,549	1,363	88.0	117	8.6
7か月児	1,421	1,312	92.3	114	8.7
1歳6か月児	1,491	1,386	93.0	319	23.0
2歳児(健康相談)	139	113	81.3	-	-
3歳児	1,516	1,343	88.6	238	17.7

妊婦一般健康診査 受診者数 前期 1,457人 後期 1,372人

超音波検査 受診者数 160人

幼児歯科健診 受診者数 3,683人

【保健福祉部 保健課】

(2) 乳幼児医療費の助成

少子化問題に係る子育て支援の一環として、0歳児から6歳児(就学前まで)の医療費負担を軽減するため、個人負担分の一部又は全部を助成した。

・対象者数 8,428人(年平均)

・乳幼児医療費助成件数 162,367件

【市民部 国保課】

(3) 相談活動の充実

母性相談室	利用者数	2,679人		
ほんわかファミリー教室	参加者数	682人		
うまれてくる赤ちゃんのためのパパママあんしん相談	紹介者数	32人	相談者数	28人
すくすく教室	参加者数	314組		
母子訪問指導員による新生児、産婦訪問指導			実施件数	826件
すこやか親子の元気ひろば	利用者数	乳幼児 1,130人	保護者	1,041人
すこやか親子教室	利用者数	1,294組		
家庭訪問				

区 分	妊産婦	新生児	乳 児	幼 児
訪問件数(件)	511	498	36	549

性の相談事業

・性の電話相談	専任相談員 1人配置	相談件数 560人
		【保健福祉部 保健課】

4. 地域保健医療体制の充実

(1) 医療機能の充実

医療施設設備整備補助金	1件	
病院群輪番制病院設備整備補助金	1件	
		【保健福祉部 保健課】

(2) 救急医療体制の充実

休日、夜間における急病診療体制

- ・一次救急

区 分	内 容	患者数(人)		
		市民	市民以外	計
夜間急病センター	年中 午後9:00～翌午前8:00	3,000	1,273	4,273
在宅当番医制	夜間 午後7:00～ 午後9:00	2,664	749	3,413
	休日 午前9:00～ 午後5:00 日曜	8,955	4,283	13,238
休日歯科在宅診療	休日 午前9:00～ 午後4:00 日曜	461	336	797
合 計		15,080	6,641	21,721

- ・二次救急

区 分	厚生病院	協会病院	第一病院	合 計
待機日数(日)	145	145	145	435
患者数(人)	1,137	751	854	2,742

患者数は市民のみ

第1章 安心安全都市

・デイサービス	1,322回	実利用者数	67人
・通所入浴	174回	実利用者数	7人
・配食サービス	61,504食	実利用者数	480人
・家族介護用品支給	1,752件	対象者数	204人
・一人暮らし高齢者訪問活動	209,235回	実利用者数	1,582人
・高齢者在宅生活援助サービス	412回	実利用者数	87人
・ねたきり高齢者等寝具類クリーニング	340件	実利用者数	213人
・ねたきり高齢者等理美容サービス	703件	実利用者数	172人
・家族介護リフレッシュ	8回	参加者数	148人
・介護予防教室	26回	参加者数	683人

【保健福祉部 高齢者福祉課】

(2) 緊急対策の充実

○一人暮らしの高齢者が安心して生活できるよう、高齢者緊急通報システムを充実した。

- ・緊急通報システム 設置数 800台

【保健福祉部 高齢者福祉課】

(3) 介護支援機能の整備

○介護に関する総合的な相談や介護情報の提供を24時間体制で行う窓口である在宅介護支援センターの整備を促進した。

- ・在宅介護支援センター(10カ所) 相談件数 9,644件

【保健福祉部 介護保険課】

3. 老人医療費の助成

高齢者福祉の一環として、65歳から69歳までの高齢者のうち、低所得者の医療費個人負担分の一部を助成した。

- ・対象者数 359人(年平均)
- ・老人医療費助成件数 9,962件

【市民部 国保課】

第4節 障害者福祉

1. ノーマライゼーション(正しい障害者観)の定着

(1) 意識の啓発

帯広駅内公共スペースの「福祉のひろば」を活用し、障害者の作成した作品等の展示・即売会や福祉機器の展示会を開催することにより、障害者の交流の機会を拡大するとともに、障害者への理解を深めた。

【保健福祉部 障害福祉課】

(2) ノーマライゼーション推進地区の拡大

前年度に引き続き、大正地区、大空・帯広の森地区、東部地区、西帯広地区を指定した。各地区においては、ノーマライゼーション理念の普及啓発をはじめ、ふれあい交流事業や研修事業等各種事業が行われた。

【保健福祉部 障害福祉課】

2. 社会参加の促進

(1) 社会参加の促進

心身障害児水泳教室

・帯広の森市民プール	5月12日～7月28日	毎週木曜日	
	12回開催	延参加者数	282人

社会学級（視覚、聴覚障害者を対象に実施）	6講座開催	延参加者数	72人
----------------------	-------	-------	-----

ハンディキャップスキー講習会

・メムロスキー場	1月12日～13日	参加者数	19人
----------	-----------	------	-----

知的障害者スポーツ教室

・地域交流ホーム	22回開催	延参加者数	156人
----------	-------	-------	------

リフト付福祉バス運行事業

・福祉団体利用分	42件		
----------	-----	--	--

・デイサービス利用分	3,562人		
------------	--------	--	--

聴覚障害者共同利用ファックス設置	市内6カ所		
------------------	-------	--	--

手話講習会	30回開催	延参加者数	854人
-------	-------	-------	------

要約筆記講習会	12回開催	延参加者数	163人
---------	-------	-------	------

点字講習会	9回開催	延参加者数	86人
-------	------	-------	-----

音訳・校正ボランティア養成講座	10回開催	延参加者数	121人
-----------------	-------	-------	------

【保健福祉部 障害福祉課】

3. 福祉サービスの充実

(1) 予防・早期発見・早期療育体制の充実

幼児ことばの教室	通室児童数	80人
----------	-------	-----

心身障害児通園事業	通園児童数	379人
-----------	-------	------

心身障害児早期療育事業	通室児童数	26人
-------------	-------	-----

【保健福祉部 障害福祉課】

(2) 社会適応訓練などの充実

中途視覚障害者リハビリテーション事業	延利用者数	50人
--------------------	-------	-----

在宅障害者各種創作活動等の教室（5教室）	195回開催	延参加者数	2,381人
----------------------	--------	-------	--------

【保健福祉部 障害福祉課】

(3) 在宅サービスの充実

身体障害者送迎事業	延利用者数	718人
-----------	-------	------

心身障害者（児）通所施設等交通費助成	実利用者数	70人
--------------------	-------	-----

重度身体障害者タクシー料金助成	実利用者数	1,179人
-----------------	-------	--------

第1章 安心安全都市

ホームヘルプサービス	実利用者数	237人	延79,780時間
視覚障害者ガイドヘルプサービス	実利用者数	19人	延2,742時間
手話通訳者派遣	派遣件数	155件	
要約筆記通訳者派遣	派遣件数	74件	
在宅重度身体障害者緊急通報システム	設置数	73世帯	
身体障害者入浴サービス	延利用者数	552人	
身体障害者短期入所	延利用者数	7人	
重度心身障害者理美容サービス	延利用者数	201人	
重度心身障害者クリーニングサービス	延利用者数	60人	
補装具等の交付・修理		3,278件	
日常生活用具の給付		159件	

【保健福祉部 障害福祉課】

(4) 相談体制の充実

相談体制	総合相談員外7人	相談件数	7,675件
------	----------	------	--------

【保健福祉部 障害福祉課】

(5) その他

身体障害者手帳交付状況	交付者数	7,048人
療育手帳交付状況	交付者数	1,126人
特別障害者手当等支給	受給者数	245人
更生医療の給付		420件
身体障害者施設訓練等支援		
・入所	延対象者数	755人
・通所	延対象者数	48人
知的障害者施設訓練等支援		
・入所	延対象者数	2,985人
・通所	延対象者数	1,631人
・通勤寮	延対象者数	416人
・グループホーム	延対象者数	437人
重度心身障害者医療費特別給付	延受診者数	60,047人

【保健福祉部 障害福祉課】

4. 居住環境の整備

(1) 施設環境の整備

オストメイト対応トイレの整備	改修数	市庁舎ほか4カ所
	簡易改修数	コミュニティセンター等190カ所

【保健福祉部 障害福祉課】

第5節 児童福祉

1. 保育施設の整備

(1) 保育所の整備

あやめ保育所ほか5保育所の改修を行った。

すずらん保育所移転改築事業

所在地 帯広市柏林台西町5丁目1番地

構造 鉄筋コンクリート造2階建

敷地面積 3,298.37㎡

延床面積 1,095.03㎡

竣工日 2月16日

児童福祉施設数及び入所児童数の状況

施設区分	施設数(カ所)	定員(人)	月平均入所児童数(人)
常設保育所	26	2,490	2,620
へき地保育所	7	375	224
計	33	2,865	2,844

【保健福祉部 児童家庭課】

2. 保育サービスの充実

(1) 低年齢児・障害児保育の充実

乳児保育 帯広保育所 外21所 月平均入所児童数 143人

障害児保育 緑ヶ丘保育所 外25所 入所児童数 78人

病後児保育 森の子保育園 利用児童数 8人

【保健福祉部 児童家庭課】

(2) 延長保育・休日保育などの充実

延長保育 帯広保育所 外16所 日平均利用児童数 141人

休日保育 すずらん保育所 日平均利用児童数 9人

【保健福祉部 児童家庭課】

(3) へき地保育所の保育内容の充実

開所日数の増 288日から292日に拡大(お盆及び年末を新たに開所)

開所時間の延長 8:30~17:00から7:45~18:00に延長

【保健福祉部 児童家庭課】

(4) 共同保育所などへの支援

共同保育所 たんぼぼ共同保育所 外3所

認可保育所の待機児童の受け入れを開始した。

【保健福祉部 児童家庭課】

3. 総合的な子育て支援

(1) 子育て支援体制の充実

市内5カ所目となる地域子育て支援施設の開設（稲田保育園）

一時保育の実施（こでまり保育園） 延利用者数 3,111人
 絵本との出会い事業 総合福祉センター等において、生後7カ月の乳幼児に絵本を配布。

配布児童数 1,303人

子育て支援短期利用事業の実施（十勝学園） 延利用日数 75日

第3子以降の保育料無料化 対象児童数 43人

児童手当 受給対象世帯数 7,684人

児童扶養手当 受給対象者数 2,464人

特別児童扶養手当 受給対象者数 358人

助産施設入所措置援護

児童福祉法第22条による助産施設

帯広協会病院、帯広厚生病院

措置件数 10件

【保健福祉部 児童家庭課】

(2) 放課後児童対策の充実

施設数及び入所児童数

施設区分	施設数(カ所)	定員(人)	月平均入所児童数(人)
児童保育センター	24	1,180	1,165

開所日数の増 288日から292日に拡大（お盆及び年末を新たに開所）

開所時間の延長 土曜日 8:30～17:00から7:45～18:00に延長

休校日 8:30～17:00から7:45～18:00に延長

待機児童対策

・柏林台児童保育センターの待機児童解消のため、啓西小学校内に臨時的に分室を設置。

入所児童数 24人

・緑ヶ丘児童保育センターの待機児童解消のため、民間施設を借り上げ、分室を設置。

入所児童数 12人

・大空児童保育センターの入所児童数増加に対応するため、同センターを旧大空保育所に移転し、定員を65人から80人へ拡充。

【保健福祉部 児童家庭課】

(3) 次世代育成支援シンポジウムの開催

次世代育成支援の基本的な考え方や取り組みについて、講演会・パネルディスカッションを開催した。

・1月14日（土）とかちプラザ

参加者数 200人

【保健福祉部 児童家庭課】

4. 母子・父子福祉の充実

(1) 相談体制の充実

母子家庭等に対する各種の相談活動を行った。

・家庭児童相談室 相談員 2人配置 相談件数 313件

・母子相談 母子自立支援員 1人配置 相談件数 614件

・女性相談 相談員 1人配置 相談件数 467件

母子家庭等日常生活支援

母子・父子家庭へ家庭生活支援員の派遣を行った。

子育て支援	2人	延日数	14日	延時間数	65時間
生活支援	3人	延日数	26日	延時間数	67時間

自立支援教育訓練給付金

母子家庭の母に、就職用教育訓練講座受講費用の一部を助成した。

- ・ホームヘルパー講座 12人
- ・介護福祉講座 1人
- ・訪問看護師講座 1人
- ・医療事務講座 1人

ひとり親家庭等医療費給付事業

- ・受給対象者数(平成18年3月末)

給付件数	62,491件
親	2,405人
子	3,499人

【保健福祉部 児童家庭課】

第6節 アイヌの人たちの福祉

1. アイヌ民族・文化への理解促進

(1) 民族・文化への理解促進

「国際先住民の日」(8月9日)にちなんだ記念事業としてアイヌ文化展を開催し、アイヌ民族・文化への理解促進に努めた。

- ・開催日時 8月3日～5日
- ・開催会場 庁舎市民ホール
- ・内容 民具・手工芸品・パネルの展示、アイヌ文化体験コーナー、啓発資料の配付

【保健福祉部 社会課】

2. 生活・教育環境の整備

(1) 生活環境の整備

アイヌ生活相談員により、アイヌの人たちの生活、健康等についての指導・援助を行った。

- ・相談件数 472件
- ・相談内容 生活(211件)、健康(59件)、教育(14件)、その他(188件)

【保健福祉部 社会課】

(2) 交流活動の促進

アイヌの人たちの活動拠点である生活館の管理・運営を行い、地域交流の推進を図った。

- ・生活館利用状況

延利用件数 462件 延利用者数 6,431人

主な利用内容 アイヌ語教室、アイヌ刺しゅう教室、帯広カムイトウウポ保存会等

【保健福祉部 社会課】

第7節 社会保障

1. 国民健康保険の運営

(1) 被保険者の負担軽減

医療分及び介護分保険料について、一般会計繰入により保険料の据え置きを行った。
低所得世帯に対し、帯広市独自の保険料の減免を行った。

- ・減免世帯数 2,340世帯
- ・減免額 59,472千円

【市民部 国保課】

(2) 保健事業の推進

市民を対象とした生活習慣病対策としての検診を受診する国民健康保険被保険者に対して、検診料の自己負担分全額を助成した。

区分	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮がん検診	乳がん検診	基本健康診査	肝炎検査	骨粗しょう症検診	前立腺がん検診	計
集団(人)	2,178	2,597	2,247	404	314	2,611	510	-	764	11,625
施設(人)	-	-	-	472	161	1,456	118	57	159	2,423
合計	2,178	2,597	2,247	876	475	4,067	628	57	923	14,048

国民健康保険被保険者を対象とした日帰り人間ドックを実施し、検診料の一部を助成した。
また、助成枠を100人拡大した。

- ・受診者数 288人
- ・検診料の一部助成 1人当り 36,750円のうち31,750円

国民健康保険被保険者を対象とした脳ドックを実施し、検診料の一部を助成した。
また、助成枠を100人拡大した。

- ・受診者数 501人
- ・検診料の一部助成 1人当り 20,000円のうち15,000円

国民健康保険被保険者を対象とした歯科ドックを実施し、検診料の全額を助成した。

- ・受診者数 237人
- ・検診料の助成 1人当り 3,150円

健康器具による骨健康度チェック、足の裏健康チェックを行った。

- ・健康まつりにおける受診者数 416人(骨199人、足の裏217人)
- ・国保パネル展における受診者数 698人(骨346人、足の裏352人)

【市民部 国保課】

2. 介護保険制度の運営

(1) 介護保険制度の運営

被保険者数(平成18年3月末現在)

世帯数				被保険者数			
総世帯数 (世帯)	第1号被 保険者世 帯数 (世帯)	第1号被保 険者世帯数 対前年比	総世帯数 に占める 第1号被保 険世帯数 の割合	総人口 (人)	第1号被 保険者数 (人)	第1号被 保険者数 対前年比	総人口に占 める第1号被 保険者数の 割合
78,194	23,387	104.2%	29.9%	170,893	32,683	104.2%	19.1%

要介護認定状況（平成18年3月末現在）

区分	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者（人）	827	2,231	771	583	658	601	5,671
第2号被保険者（人）	7	74	32	17	24	27	181
総数	834	2,305	803	600	682	628	5,852

サービスの利用状況（延人数）

区分	居宅介護サービス	施設介護サービス				合計
		介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	小計	
第1号被保険者（人）	38,328	4,299	4,243	2,117	10,659	48,987
第2号被保険者（人）	1,375	49	64	54	167	1,542
総数	39,703	4,348	4,307	2,171	10,826	50,529

介護保険料軽減の状況（帯広市独自軽減分）

人数	軽減額	軽減前の額	軽減後の額	軽減率
961人	11,516,500円	29,402,930円	17,886,430円	39.17%

・世帯一人当りの収入が、老齢福祉年金相当額以下

所得段階	基準	人数	保険料	軽減額	軽減後の額
第1段階	生活保護受給者を除く老齢福祉年金受給者のうち、世帯一人当りの収入が老齢福祉年金相当額以下の場合	21人	20,760円	10,380円	10,380円
第2段階	世帯一人当りの収入が老齢福祉年金相当額以下の場合	166人	31,140円	20,760円	10,380円
第3段階		0人	41,520円	31,140円	10,380円

・生活保護基準なみの世帯

所得段階	基準	人数	保険料	軽減額	軽減後の額
第2段階	単身世帯で前年収入130万円以下の場合。ただし、世帯員が一人増えるごとに60万円を加算する。	764人	31,140円	10,380円	20,760円
第3段階		10人	41,520円	20,760円	20,760円

【保健福祉部 介護保険課】

3.生活の援護

(1)自立の支援

保護区分	延人員	保護区分	延人員
生活扶助	39,328人	生業扶助	1,172人
住宅扶助	36,714人	葬祭扶助	18人
教育扶助	3,547人	冬季薪炭費	9,101人
介護扶助	4,724人	施設事務費	411人
医療扶助	35,149人		
月平均世帯数	2,475世帯		
月平均人員	3,437人		
月平均支出額	494,894千円		

【保健福祉部 保護課】

第8節 墓園

1. 墓園の整備

(1) 墓園の整備

中島霊園整備事業

・造成	6 m ²	116 区画	
・貸付	4 m ²	84 区画	
	6 m ²	56 区画	
	8 m ²	2 区画	
	12 m ²	3 区画	
	16 m ²	1 区画	合計 146 区画

【市民部 市民課】

第9節 防災・消防

1. 防災意識づくり

(1) 防災意識づくり

防災グッズ展

災害時に備えた非常持出品、家庭での備蓄品を展示して防災意識の啓発を図った。

- ・実施日時 1月16日～20日
- ・実施場所 庁舎市民ホール

【総務部 庶務課】

2. 防災体制の充実

(1) 災害時の体制強化

地域防災訓練

防災関係機関及び地域住民が参加し、初期消火、避難訓練等の住民体験型の訓練を行い災害時の体制強化を図った。

- ・実施日時 9月4日
- ・実施場所 豊成小学校

災害用備品の更新

大規模災害の発生による市民の被災に備え、非常用食糧の更新、機材の整備を図った。

- ・アルファ米 6,800食
- ・携帯用食糧 6,000食
- ・ウォーターパッカー 1台

【総務部 庶務課】

(2) 広報・通信体制の充実

震災などで電話の途絶や通信制限があった際に、帯広市との連絡手段の確保及びリスクの分散を図るため、衛星携帯電話を導入した。

- ・衛星携帯電話 2台

【総務部 庶務課】

(3) 自主防災組織づくり

住民の防災意識普及と災害時の相互協力体制を構築するために、自主防災組織の育成を図るとともに、防災資器材の整備を図った。

- ・ 自主防災組織 3 組織 (緑商連合町内会、豊成連合町内会、鉄南地区東連合町内会)
- ・ 防災資器材 25 カ所

【総務部 庶務課】

3. 救急救命体制の充実

(1) 救急救命体制の充実

救急隊員 (標準課程) の養成 5 人
高規格救急車の整備 1 台

【消防本部 警防課】

(2) 応急知識の普及

応急手当てに関する講習会の実施

区 分	回数 (回)	受講者数 (人)
普通救命講習	33	759
一般救急講習	93	3,086
合 計	126	3,845

【消防本部 警防課】

4. 消防体制の充実

(1) 消防体制の充実

防火衣の更新 53 着

【消防本部 総務課】

消火栓整備事業 新設 3 基
更新 4 基
消防車両の整備 水槽付消防ポンプ車 1 台

【消防本部 警防課】

5. 防火安全対策の推進

(1) 自主防火の促進

自主防火の取組状況

区 分	実施回数 (回)	参加者数 (人)
避難訓練	537	45,729
消火訓練	431	17,510
防火映画会	71	5,907
講話・講習会	186	19,214
合 計	1,225	88,360

【消防本部 予防課】

(2) 防火意識の普及

高齢者や障害者など災害弱者に対する訪問指導 995世帯
 市民防災フェスティバル(8月) 参加者数 1,500人

【消防本部 予防課】

(3) 防火クラブの育成

幼年消防クラブ結成 8クラブ

【消防本部 予防課】

第10節 交通安全

1. 交通安全思想の普及徹底

(1) 交通安全教育の推進

高齢者・子どもなど交通弱者を重点に各種交通安全教室並びに研修会を開催し、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に努めた。

区 分	件数(件)	参加者数(人)	区 分	件数(件)	参加者数(人)
幼稚園・保育所	61	4,589	特殊学校	10	608
小学校	102	15,019	各種イベント	8	1,054
町内会	5	180	学童保育センター	43	2,530
老人会	16	430	その他	2	49
合 計	247 件		24,459 人		

死亡事故の割合が増えている高齢者を対象にしたドライビング体験会や老人クラブ交通安全推進委員研修会等の実施により、高齢者の交通安全意識の高揚に努めた。

市街地の小学校校下に配置している交通指導員により、児童の安全指導と交通事故抑止に努めた。

【市民部 交通安全課】

(2) 交通安全運動の推進

交通安全思想の普及と安全意識の向上を目指し、市と帯広市交通安全推進委員連絡協議会及び警察等、関係機関・団体が相互に連携を図り、4期40日の交通安全運動期間を中心として地域ぐるみの交通安全運動の展開に努めた。

【市民部 交通安全課】

2. 交通安全環境の整備

(1) 交通安全施設の整備

歩道新設

路線名	施工箇所	延長(m)	幅員(m)
柏林台・1号線	柏林台西町5丁目、南町3丁目	261.75	9.00~14.00
柏林台・2号線	柏林台西町1丁目、中町4丁目	335.77	10.00~20.00
以平5号・幸福28号線	幸福町東1線~2線	450.49	11.00
旧広尾道路甲線	愛国2号~南11線	1,387.83	1.50
川西・稲田西2線線	稲田町西2線	用地補償	

【建設部 土木課】

区画線設置	114,500m
視線誘導標識設置	77基
道路照明灯設置	4基
横断歩道改良	7カ所

【建設部 道路維持課】

第11節 防犯

1. 街路灯の充実

(1) 街路灯の充実

街路灯の電気料に対する補助を行った。

街路灯の新設に対する補助を行った。 78灯

【企画部 住民活動課】

第12節 消費生活

1. 消費者の保護

(1) 消費者の保護

自立した消費者の育成や被害の未然防止を図るため、講演会、消費生活展の開催、予防教育等を行った。

・消費者講座の開催	5回	受講者数	307人
・消費者講演会の開催	2回	受講者数	152人
・地域消費者講座の開催	10回	受講者数	394人
・消費生活展の開催		入場者数	2,754人
・消費者ニュース「みんなの暮らし」の発行	年4回		4,800部/年
・消費者被害予防教育の実施（高校3年生及び専門学校生）	9校	27回	2,076人
・十勝消費者大会への参加			38人
・消費者被害予防の啓発（広報おびひろに掲載）			6回

【商工観光部 労働消費課】

(2) 消費情報の提供

消費生活モニターや北のくらし情報システム等により、消費者に的確な情報を提供した。

・消費生活情報地域ネットワークシステムの運用	
・消費生活モニターの配置	12人
・消費生活モニターの研修会	年2回実施
・生活必需品の小売価格調査	33品目 毎月10日調査（生活必需品） 3品目 年2回調査（サービス料金）
・年未年始の物価対策	生鮮食品の安定供給と価格抑制を市場関係者に要請 正月用食品の小売価格調査 9品目 2回調査 原産地表示調査 4回調査

【商工観光部 労働消費課】

(3) 消費生活アドバイスセンターの充実

消費生活に関する相談業務が複雑・高度化していることから、専門相談員を適正配置することにより、迅速かつ的確な対応を図った。

・消費者からの相談		3,186件
・くらしの展示室の運営	利用者数	11,700人
・テレホンサービスの実施		801件

【商工観光部 労働消費課】

2. 公正取引の促進

(1) 計量の適正化

民間計量士による代検査を推進し、行政は立入検査に力点をおいた計量指導体制づくりを進めた。

・定期検査の実施	受検戸数	354戸	検査個数	1,215個
・立入検査の実施	商品量目	31戸		4,234個

【商工観光部 労働消費課】

(2) 適正な事業活動の促進

事業者に対する消費者保護関係法令等の的確な情報提供を行うとともに、消費者ニーズが反映されるよう啓発活動を行った。

・(社)帯広消費者協会の育成・支援				
・消費者保護審議会、苦情処理部会の開催				
・消費生活用製品安全法による立入検査	調査店舗数	14店舗	違法件数	0件
・家庭用品品質表示法による立入検査	総検査件数	193件	不適正	0件

【商工観光部 労働消費課】

第 2 章 産業複合都市

第1節 産業間連携

1. 十勝型産業クラスターの形成

(1) 産業クラスターの形成

帯広市の地域特性を踏まえ、地域のあらゆる人材・技術力・資源を有機的に結びつけ「モノづくり」を基本とした地域産業の振興が重要であることから、「帯広産業クラスター研究会」の研究開発事業を支援した。

また、地場の産業における競争力、技術力のレベルアップのため、新製品・新技術等の研究開発やデザイン開発などに取組む中小企業等を支援した。

- ・地場産業振興補助金 3件

【商工観光部 工業課】

2. 広域的な産業振興のしくみ

(1) 広域的な産業振興のしくみ

十勝圏の基幹産業である農業を核としながら、地域産業の総合的な振興と活力ある地域社会の形成に資するとともに、産学官の連携と産業間や異業種の交流を促進し、広域的なネットワーク化を進めるため、(財)十勝圏振興機構への支援を行った。

【商工観光部 工業課】

第2節 農林業

1. 生産基盤の整備

(1) 生産基盤の整備

国営土地改良事業

区分	地区名	本年度施工事業量	進捗率	計画期間
総合かんがい排水事業	札内川第一	用水路 28,800m	94.43%	平成2年～平成18年
	札内川第二	用水路 44,990m ファームント 1カ所	51.83%	平成8年～平成23年

道営担い手育成畑地帯総合整備事業

地区名	本年度施工事業量	進捗率	計画期間	
帯広東	農道整備(改良)	2,147m	98.13%	平成2年～平成18年
	農道整備(舗装)	594m		
	明渠排水	1,938m		
帯広中央	農道整備(改良)	740m	94.70%	平成3年～平成18年
	農道整備(舗装)	572m		
	明渠排水	3,201m		
	土層改良	86ha		
	暗渠排水	41ha		
帯広西	農道整備(改良)	415m	94.93%	平成4年～平成18年
	農道整備(舗装)	857m		
	明渠排水	6,208m		

道営担い手支援（営農用水）畑地帯総合整備事業

地区名	本年度施工事業量	進捗率	計画期間
大正	配水池 上屋1棟 配水管 7,388m 機械・電気計装 1式	96.04%	平成14年～平成18年

【農務部 農村整備課】

(2) 農地の集団化、流動化の促進

交換分合

- ・拓成地区（2年次目）300ha 土地調査（測量）、計画案作成ほか

【農業委員会事務局 農地課】

(3) 八千代公共育成牧場の整備

牧場の機能強化を図るため、草地の整備改良等を実施した。

- ・草地整備改良 20.1ha 道路改良 42m 雑用水 136m
基地内舗装 牧場用機械施設整備

【農務部 営農課】

(4) 経営の安定

農林業育成資金貸付金の充実

・地域農業後継者の確保育成、農業振興・地域活性化及び安全で安心な農畜産物の生産振興を推進するため資金の貸付を行った。

- 貸付実績 3件 総額51,400千円
(うち安全・安心関連資金 1件 40,000千円)

【農務部 営農課】

2. 良質な食料生産の推進

(1) 農業技術支援体制の充実

生産技術の向上を図るため新技術に関するグループ研究に対して一部助成を行い、その成果を地域農業者に普及させた。

- ・研究グループ数 5件（新技術部門5件）

【農務部 営農課】

(2) 生産支援対策の推進

川西地区において、農産物の高生産及び安定生産を目指し、より一層の地力増進と施設の整備を行った。

- ・石礫除去 32.53ha
・加工馬鈴薯貯蔵施設 新設

大正地区において、総合的な土づくりを実施し農産物の品質・収量を向上させるため、休閒緑肥の導入を行った。

- ・休閒緑肥 72.70ha

【農務部 農林課】

(3) 食の安全・安心対策

「食」の安全・安心推進プラン及び行動計画に基づき施策を推進した。

- ・加工用馬鈴薯のトレーサビリティ導入支援を実施
- ・硝酸性窒素の自主検査及び生産者への啓発の実施
- ・農業環境規範など生産者へのサポート、啓発活動の実施
- ・展示ほ及び共進会での小学生の農業体験学習の受け入れ 14校 1,063人
- ・「食」の講習会を開催 4回
- ・学校給食への地場産小麦導入に向けた取組を実施
- ・消費者による生産現場の訪問バスツアーを実施
- ・牛乳の消費拡大キャンペーンの実施 2回
- ・地場産農産物を利用した料理のメニュー化を推進
- ・帯広「大朝市」の開催
- ・安全安心な農畜産物の生産振興に資する資金貸付

コミテ・ブレニエ・フロマージュ(ナチュラルチーズ国際交流会議)の開催

・ナチュラルチーズの消費拡大とチーズ加工技術の向上を目指し開催。

本会議 6月22日～24日 参加者数 国内 278人
国外 60人

国際ナチュラルチーズフェア 6月21日～26日 入場者数 28,040人

【農務部 農林課・営農課】

3. 個性的な農業の推進

(1) 後継者の育成

就農後問もない農家後継者向けの十勝ふるさと農学校「元気塾3期」を開催し、農業経営、農業技術に関する研修を行った。

- ・元気塾生 21人

【農務部 営農課】

4. 環境と調和した農業の推進

(1) 資源循環型農業の推進

クリーン農業推進事業

・土づくりの推進とともに、環境に配慮した農業を目指すエコファーマーの認定や有機・減農薬栽培の促進を図った。

畜産環境対策事業

・生乳処理水の処理対策の研究を帯広畜産大学と行い、環境負荷軽減を行う施設の研究を実施した。

【農務部 営農課】

(2) 農業廃棄物の適正処理

環境と調和した農業を推進するために、農業用廃プラスチックの適正処理を促進するとともに、排出量を抑制するため生分解性資材の普及を図った。また、長いもネットと茎葉の堆肥化について試験・普及を行った。

- ・生分解性長いもネットの資材購入助成 46.0ha

- ・生分解性マルチの普及助成
- ・農薬空容器回収専用袋の配布

9.4ha
全戸(7,680戸)

【農務部 営農課】

5. 個性的な農村づくり

(1) 生活環境の整備

農村下水道整備事業

区分	地区名	本年度施工事業量	進捗率	計画期間
個別排水 処理事業	川西	浄化槽設置 17戸	56.40%	平成11年～平成22年
	大正	浄化槽設置 12戸		

農村公園整備事業

地区名	本年度施工事業量	進捗率	計画期間
広野	植栽、トイレ	100.00%	平成15年～平成17年

【農務部 農村整備課】

6. 文化を育む農村づくり

(1) 農業の持つ教育機能の活用促進

農村地域の歴史的資源や田園景観を活用するため、年次計画によりすすめてきた田園空間整備事業(道営事業)において、とかち大平原交流センターの外構工事等の整備を行った。併せて、隣接する農機具展示保管施設に農機具の移設を行った。

(道営事業)

- ・とかち大平原交流センター外構工事
- ・旧川原邸移設、修復工事
- ・地域情報システム開発

(単独事業)

- ・農機具移設

【農務部 農林課】

7. 林業の振興

(1) 多様な森林づくり

市有林の現況

区分	面積(ha)	蓄積(m ³)
天然林	930.34	114,864
人工林	1,524.41	305,820
その他	28.42	
合計	2,483.17	420,684

市有林造成事業

区分	工種	樹種	対象面積(ha)	植栽本数(本)
新植事業	植栽	カラマツ	8.47	21,175
		人工林植栽他	16.96	
保育事業	刈拵 地間 伐	人工林伐採跡他	4.20	
		カラマツ等	67.85	
		合計	89.01	

市有林収穫事業

区 分	売払金額
皆伐売払	18,762千円
素材売払	735千円
合 計	19,497千円

林道事業

- ・普通林道北岩内線開設工事 延長422m 幅員4.0m

【農務部 農林課】

(2) 民有林の振興

林業振興対策事業

事 業 名	事業内容	対象面積
帯広市森づくり推進事業	植栽	2.78 ha

- 森林作業員長期就労促進事業 就労長期化促進 35人

【農務部 農林課】

(3) 有害鳥獣の駆除

- 森林保護事業(野そ駆除剤地上手播) 手播面積 29.79ha

【農務部 農林課】

第3節 工業

1. 技術開発力の向上

(1) 産業支援機能の整備

十勝圏地域食品加工技術センター事業の支援や北海道立工業試験場の研究員を長期に受け入れて、地域の資源や技術、人材などを有機的に結びつけながら産業間・産学官の連携を強化し、地場産業の高度化・複合化による内発的な産業振興の促進に努めた。また、技術開発・製品開発をはじめ起業化や新分野への進出など、企業の創造的な事業活動を総合的に支援する拠点施設「十勝産業振興センター」の建設を支援し、12月に完成した。

【商工観光部 工業課】

(2) 技術開発の支援

(財)十勝圏振興機構の地域産業支援センター事業に対して支援を行い、地元企業からの技術相談等に対して指導助言を行うとともに、大学や公設研究機関と連携し新製品・新技術開発に向けた技術力向上に努めた。

- ・相談者の状況

区 分	情報提供	技術指導	経営相談	その他
実績(件)	99	2	2	7

【商工観光部 工業課】

(3) 技術情報の提供

地元企業の技術力向上のため、大学や試験研究機関の先進的な研究成果や技術情報並びに工業所有権などの情報提供に努めた。

- ・各研究機関刊行物の収集 380冊
- ・工業所有権に関する相談・検索・講習会等 80件

【商工観光部 工業課】

(4) 研究開発型企业などの育成

地場企業のものづくり能力や研究開発力の向上のため、光学実験計測装置や画像入力解析装置などを活用した新製品の試作開発に向けて研修会、講習会等を開催した。

【商工観光部 工業課】

2. 経営基盤の強化

(1) 経営の効率化

(財)十勝圏振興機構の地域産業支援センター事業に対して支援を行い、地場企業の経営面(生産・工程・財務管理等)の課題について指導助言を行い、企業経営体質の改善・強化に努めた。

【商工観光部 工業課】

(2) 経営の支援

中小企業者が経営基盤の強化を目指し新事業・新分野へ進出する場合、及び産学官が連携し起業する場合に新たに制度を創設し支援を行った。

- ・帯広市新事業進出支援事業補助金 4件

【商工観光部 工業課】

3. 人材の育成・誘致

(1) 人材の育成

帯広市商工観光振興基金を活用し、市内の商工業等従事者の資質向上を図るため各種研修事業等の活動を支援した。

- ・派遣研修事業 4人
- ・自主研修事業 4件

【商工観光部 商業課】

(2) 異業種交流の促進

新たな事業を創出するためには、人材や技術・資源を有機的に結びつける広域的なネットワークの構築が必要であり、産学官連携や異業種交流活動への参加促進を図った。

- ・ヒューマンネット十勝の参加
- ・テクノプラザ帯広の参加
- ・北海道技術振興連絡協議会の参加
- ・帯広畜産大学地域共同研究センターとの連携強化

【商工観光部 工業課】

(3) 人材の確保・誘致

北海道工業試験場の研究員を受け入れ、地場企業の新製品開発や新技術に必要な技術指導を受けた。

【商工観光部 工業課】

4. 産業立地の促進

(1) 産業立地環境の整備

産業系用地の確保と企業立地の促進を図るため、(財)帯広市産業開発公社が取得した帯広市西20条北工業団地の販売を促進した。

・取得及び販売実績

区 分	12年度 ~ 16年度	17年度	計
取 得	44区画 78,190.37㎡		44区画 78,190.37㎡
販 売 (賃貸含む)	14区画(2区画) 21,074.47㎡(4,116.57㎡)	1区画 1,472.69㎡	15区画(2区画) 22,547.16㎡(4,116.57㎡)

()内は、賃貸区画数及び面積の内数。

【商工観光部 工業課】

(2) 企業立地の促進

本市における企業の立地を促進するため、帯広市内に工場等を新增設した企業に対し助成を行い、産業振興を図った。

また、帯広市西20条北工業団地の立地を促進するため、当該工業団地への入居企業に助成した。

- ・帯広市企業立地補助金 2件
- ・帯広市工業団地立地奨励金 2件

【商工観光部 工業課】

第4節 商業・サービス業

1. 商店街の整備

(1) 個性ある商店街の形成

個性的で魅力ある商店街の形成を図るため、商店街が自ら行う活性化事業に対して支援を行った。

- ・商店街活性化事業に対する助成 16商店街
- ・おびひろイルミネーションプロジェクトに対する助成

【商工観光部 商業課】

(2) 商店街の環境整備

快適な商業環境を創出するため、ロードヒーティングの維持費に対して助成を行った。

- ・商店街ロードヒーティング等維持費の助成 7商店街

【商工観光部 商業課】

2. 経営基盤の強化

(1) 融資制度の充実

新たな事業分野へ挑戦するベンチャー企業や企業連携を支援するため、新事業進出支援資金を創設し、事業活動の促進を図った。

事業規模・雇用の拡大や経営効率の向上を支援するため、パワーアップ資金を提供し、事業資金調達の円滑化を図った。

事業計画の改善や資金繰りの安定化を目的に、運転資金としてセーフティネット資金を提供し、経営の維持・安定を図った。

小企業資金・セーフティネット資金に関わる保証料補給制度を継続し、資金調達円滑化の促進・支援を図った。

北海道の創業貸付における保証料について保証料補給制度を継続し、創業者に対する支援強化を図った。

制度融資の利用を促進するため、リーフレット等を配布するとともに取扱金融機関、信用保証協会等関係機関と連携を深め、中小企業者からの融資・経営相談に対応する相談窓口の充実強化を図った。

融資利用状況

資金名	預託金額 (千円)	新規貸付			年度末残高		
		件数 (件)	金額 (千円)	前年比	件数 (件)	金額 (千円)	前年比
小企業資金	1,492,000	315	1,376,440	99.7%	1,126	2,924,972	109.7%
設備資金	1,023,541	36	330,540	50.9%	301	2,198,612	87.6%
運転資金	515,158	82	596,000	84.1%	203	965,731	97.5%
特別設備資金	186,462	3	90,000	300.0%	18	264,278	127.9%
大型店対策資金	60,965	3	45,000	225.0%	12	96,846	119.1%
組織強化資金	20,874	1	7,000	466.7%	9	33,399	86.5%
セーフティネット資金	1,517,293	76	868,100	79.9%	276	2,379,522	115.2%
工業団地取得・設備資金	531,783	3	122,000	115.9%	53	1,046,365	98.5%
新事業進出支援資金	88,581	2	60,000	200.0%	6	114,203	152.3%
新規開業支援資金	14,226	2	4,554	82.8%	11	32,635	77.1%
制度廃止・取扱していない資金	139,117				30	233,554	80.2%
合 計	5,590,000	523	3,499,634	87.1%	2,045	10,290,117	102.6%

【商工観光部 商業課】

(2) 商業団体の育成

商店街の組織化及び商業団体の機能充実に促進するために、帯広市商店街振興組合連合会が実施する指導育成事業等に対し、支援を行った。

【商工観光部 商業課】

第5節 中心市街地

1. 都心機能の強化

(1) 十勝・帯広の顔づくり

帯広市駅北多目的広場のイベント事業等への貸付を行った。

- ・貸付件数 20件
- えきまえ四季潤い空間創出事業の実施
- ・駅北交通広場等に立体花壇を設置し、帯広の玄関であるJR帯広駅周辺に潤いのある空間を創出した。
- 立体花壇設置 3カ所

【商工観光部 都心振興課】

(2) 中心市街地の魅力づくり

中小小売商業高度化事業構想(TMO構想)の実現に向け支援を行った。

- ・TMO機関に対する推進事業費の補助

【商工観光部 都心振興課】

(3) 国の合同庁舎構想の促進

国の合同庁舎構想の促進に係る資料・情報の収集を行うとともに、関係機関と協議を行った。

【企画部 企画課】

第6節 観光・物産

1. 観光拠点の整備

(1) 十勝エコロジーパーク計画の推進

十勝エコロジーパーク計画の促進並びに、国の千代田新水路事業及び周辺地域の河川環境整備、道立広域公園の整備促進に向けた要請を行った。

【商工観光部 観光課】

(2) 愛国駅・幸福駅・大正駅周辺の整備

道営小園空間整備事業を導入し、愛国ふれあい広場の整備を行った。

駅舎改修、ラジコン道路整備、ヒマワリ畑整備

【商工観光部 観光課】

(3) 拠点施設の整備

既存観光案内板の記述内容追加 2枚

【商工観光部 観光課】

2. 参加体験型観光の振興

(1) 参加・体験型観光の振興

帯広・十勝の観光資源を活かし、体験型観光を振興するため、ポロシリ自然公園及び周辺において、地元住民との協働による各種体験観光推進事業を実施した。

- ・体験観光推進事業(ニジマス・ヤマベの放流、植樹、自然体験等) 5回

【商工観光部 観光課】

3. 観光イベント・コンベンションの充実

(1) イベントの充実

行 事 名	開 催 時 期	開 催 場 所
第33回十勝川イカダ下り	7月30日	十勝川河畔
Gビールストリート・にぎわいとちかちフェア	8月8日～16日	広小路
第51回おびひろ七夕まつり	8月4日～7日	広小路
第58回帯広平原まつり	8月14日～16日	市内中心部
第47回おびひろ盆おどり	8月15日～16日	市内中心部
第50回岩内仙峡もみじまつり	10月9日	岩内仙峡
第36回帯広菊まつり	10月29日～11月3日	中央公園
第43回帯広氷まつり	1月27日～29日	緑ヶ丘公園
おびひろ夢あかりアートの街	11月19日～2月14日	中央公園ほか

世界ラリー選手権(WRC)の開催支援

- ・開催時期 9月30日～10月2日(歓迎会9月27日)
- ・開催場所 北愛国交流広場、幕別町、足寄町、陸別町、新得町、音更町、本別町
- ・参加者 17カ国180人、90台、競技関係者(メディア含む)3,000人
- ・観戦客数 224,000人

【商工観光部 観光課】

(2) コンベンションの誘致

帯広市及びその周辺地域で開催される各種会議や大会などコンベンションの歓迎看板、フラッグ、ステッカーの掲示などの歓迎活動を行ったほか、コンベンションカレンダーを作成するなど(社)帯広観光コンベンション協会と連携して大会運営団体への誘致活動を行った。

【商工観光部 観光課】

4. 観光宣伝・受入環境の整備

(1) 宣伝活動の推進

とちかち観光物産センターや帯広駅・とちかち帯広空港の観光案内所において、各種観光・物産情報の提供と情報収集を行い、観光客誘致や観光宣伝の推進を図った。

【商工観光部 観光課】

(2) 観光客の誘致

たびさき案内人事業、幸福駅ハッピーセレモニー事業を実施したほか、とちかち帯広空港利用促進協議会による帯広・十勝エリアツアー造成促進事業を行った。

- ・帯広・十勝エリアツアー造成促進事業 14社 17企画 参加者数 2,072人
- (社)帯広観光コンベンション協会、十勝観光連盟、(社)帯広物産協会等と協力し、誘致・宣伝事業を行った。

国際チャーター便誘致促進事業

- ・観光プロモーション事業、広域観光ルート整備事業、チャーター便受入歓迎事業を行った。
- 就航数 台湾便 332便(54,302人)

【商工観光部 観光課】

5. 地域資源を生かした観光・物産振興

(1) 物産の振興

「北海道の物産と観光展」(34会場)に参加
姉妹都市である徳島市・大分市での物産展に参加

【商工観光部 観光課】

6. 広域観光の推進

(1) 広域観光の推進

大雪・東北北海道など周辺地域と連携し、外国人観光客誘致を実施した。

【商工観光部 観光課】

(2) 姉妹都市との交流

大分市・徳島市子供親善訪問団の派遣・受入

- ・大分市 派遣17人 受入20人
- ・徳島市 派遣20人 受入20人

【商工観光部 観光課】

第7節 労働

1. 職業能力開発の促進

(1) 職業訓練の充実

平成17年度訓練状況

- | | | | |
|---------|----|---|------|
| ・普通課程 | 3科 | 計 | 13人 |
| ・短期課程 | 6科 | 計 | 83人 |
| ・その他研修等 | | 計 | 78人 |
| | 合 | 計 | 174人 |

技能者の養成と技術向上を図る職業訓練の充実・強化のため、訓練事業に補助を行った。

【商工観光部 労働消費課】

2. 人材の確保

(1) 人材の確保

U・Iターン促進事業(平成18年3月末現在)

- | | | |
|-------------|-----|-----|
| ・求人登録件数 | 12社 | 45人 |
| ・求職登録件数 | | 31人 |
| ・就職決定者数(累計) | | 38人 |

【商工観光部 労働消費課】

3. 雇用の拡大・確保

(1) 雇用の拡大・確保

帯広公共職業安定所、自治体、経済団体、労働団体など関係機関と連携し、雇用失業情勢の情報交換や雇用対策について協議するとともに、国、北海道との連携事業や帯広市独自雇用対策事業等により雇用の拡大・確保を図った。

第2章 産業複合都市

- ・帯広市独自雇用対策事業等の実施 延雇員数 15,132人
- ・高校生職場体験学習等支援事業
インターンシップを円滑に推進するために、専任の担当者を配置し、事業の円滑な推進と新規高卒者の地元就職の促進を図った。
- ・雇用創出緊急奨励金 2社 2名
- ・新規人材確保育成支援事業
企業の中心的役割を担う人材やスキルある人材を広く募り、研修、カウンセリング等教育訓練後、企業側に情報提供し、再就職の促進を図った。
応募 133人 登録 89人 採用内定 32社・38人
- ・若年者就職基礎能力向上講習
受講者 16人 就職 9人

【商工観光部 労働消費課】

(2) 季節労働者の雇用

帯広市独自雇用対策事業の中で、緊急雇用対策として「保安林下層木除去・枝打業務」など5事業を実施したほか、継続3事業で季節労働者の雇用機会の確保を図った。

継続事業一覧

区 分	延就労者数(人)
児童公園砂場入替等業務	121
歩道交差点の人力削り除雪業務	193
公営住宅環境等整備業務	48
合 計	362

【商工観光部 労働消費課】

(3) 高齢者の就業支援

シルバー人材センター（臨時的・短期的就業機会の提供）

- ・登録会員数 873人（平成18年3月末現在）
- ・受注件数 6,098件

帯広市高年齢者職業相談室（エスタ帯広東館2階）

- ・紹介件数 859件
- ・就職件数 197件

【商工観光部 労働消費課】

4. 勤労者福祉の充実

(1) 労働環境の整備

労働相談

- ・相談件数 52件

労働調査

- ・帯広市事業所雇用実態調査の実施
- ・帯広市季節労働者雇用実態調査の実施

労働安全

- ・労働安全ビデオの貸出 貸出件数 8件 26巻

【商工観光部 労働消費課】

(2) 勤労者福祉の向上

とち勤労者共済センターの内容充実(中小企業労働者の福祉増進)

- ・加入事務所 742社(平成18年3月末現在)
- ・加入者数 6,760人

帯広市労働者貸付金(生活資金貸付)

- ・貸付件数 11件

季節労働者対策

- ・季節労働者生活資金貸付金 貸付件数 19件

【商工観光部 労働消費課】

第 3 章 環境共生都市

第1節 環境保全

1. 環境への負荷の少ない地域社会づくり

(1) 総合的な環境保全

環境基本計画の進行管理に携わる市民主体の組織（帯広市環境保全推進会議）の事業として、環境保全活動への市民参加を啓発する環境交流会等を実施した。

【緑化環境部 環境課】

2. 自然環境の保全

(1) 自然環境の保全

自然環境保全地区（民有地）を1ヵ所新たに指定した。

自然環境監視員3人、ヌップク川自然環境監視員1人を委嘱し、自然環境を監視した。

植生調査を1林で実施した。

【緑化環境部 環境課】

3. 環境学習の推進

(1) 環境学習のプログラムづくり

環境教育機会の提供のため、環境に関する作品展を開催した。

・参加作品数 104点

環境教育学習資料（小学校3、4年生向け）を作成し、モデル校などに備え付けた。

【緑化環境部 環境課】

(2) 環境情報の提供

自然ガイド No. 3（鳥）を2,000部作成した。

帯広市環境白書(平成17年度 第36号)を作成した。

出前環境教室・講座を実施した。

・小学生137人 中学生328人 一般1,220人 計1,685人

【緑化環境部 環境課】

4. 市民による行動

(1) 市民行動の指針づくり

環境ISO14001・2004年度版セミナーを開催するなど、認証取得及び取得を希望する事業所などの支援を行った。

帯広市環境にやさしい活動実践校（学校版環境ISO）として、小学校5校、中学校1校の認証を更新するとともに、新たに中学校1校を認証した。

【緑化環境部 環境課】

(2) 環境美化の推進

空き地の管理実態調査(春と秋)を行い、草刈を奨励し、環境衛生の向上に努めた。

帯広市町内会連合会の活動として、全市一斉河川清掃運動等を推進し、公衆衛生の向上に努めた。

告示により野犬掃とう期間を設定し、野犬掃とう及び苦情の処理等を実施した。

区 分	頭数又は件数
畜犬登録申請頭数	576頭
野犬掃とう頭数	53頭
苦情処理件数	115件

【緑化環境部 環境課】

5. 環境管理体制の整備

(1) 公害の未然防止

公害の現状を把握し、発生源対策に努めるとともに、公害の未然防止・環境保全に関する意識の啓発普及を図るため、各種調査・広報活動を実施した。

・各種調査・測定状況

区 分	調査・測定項目	測定地点
大 気 汚 染	二酸化硫黄	産業技術センター(12月廃局)
	二酸化硫黄・浮遊粉塵 一酸化炭素・窒素酸化物	公害防止センター
水 質 汚 濁	河川水質調査	10河川 14地点
	糞便性細菌調査	10河川 11地点×2回
酸 性 雪	酸性雪調査	市内 5地点
騒 音 ・ 振 動	特定工場等立入検査	市内各所(24カ所)
	自動車騒音調査	市内 5地点
	航空機騒音調査(固定)	十勝飛行場周辺 2地点
	航空機騒音調査(移動)	十勝飛行場周辺 10地点
悪 臭	発生源調査	市内 4事業所 6地点

・公害苦情処理状況

種類	大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	その他	合計
件数	76	9	21	1	15	4	126

・公害防止センターの監視・測定体制の充実のため、測定機器の更新・整備を実施した。

【緑化環境部 環境課】

(2) 監視・調査体制の充実

地盤沈下等環境調査の実施状況

調査・測定項目	測定地点
地下水位観測	帯広工業団地 1カ所
深層地熱水水位観測	市内 3カ所

【緑化環境部 環境課】

6. エネルギーの有効利用

(1) 未利用エネルギーの有効利用

自然エネルギーの利活用の普及促進を図るため、住宅用太陽光発電システム設置補助制度を継続し、17戸に対し補助を実施した。

【緑化環境部 環境課】

(2) 省エネルギーの取り組み

家庭内での省エネルギー活動について、帯広市町内会連合会、帯広市環境保全推進会議と連携し出前省エネ講座を開催したほか、ノーカーデーなどの普及啓発を行った。

【緑化環境部 環境課】

第2節 ごみ減量化・資源化

1. リサイクル活動の推進

(1) 資源回収活動の推進

町内会等の資源集団回収の取組に対し、資源回収奨励金を支給した。

支給団体	資源回収重量(t)				
	紙類	びん類	金属類	その他	合計
718団体	8,410	595	971	1	9,977

【緑化環境部 清掃事業課】

(2) リサイクル事業の推進

容器包装リサイクル法に対応する帯広スタイルの資源回収の日「Sの日」の定着を図り、更に紙製容器包装、プラスチック製容器包装を追加収集し、同法の完全実施を行っている。

	容器包装類	紙類	リターナブルびん	計
収集量(t)	6,214	2,186	24	8,424

【緑化環境部 清掃事業課】

(3) 生ごみの資源化促進

生ごみ堆肥化容器及び電動生ごみ処理機購入費に対し助成を行い、資源化の促進に努めた。

区分	助成数	累計
生ごみ堆肥化容器(個)	169	6,977
電動生ごみ処理機(台)	348	1,411

【緑化環境部 清掃事業課】

2. 啓発・指導活動の推進

(1) 啓発活動の強化

春・秋2回の「ごみ減量・資源化促進月間」を設定し、広報活動を強化するとともに、「リサイクルパネル展」「秋のリサイクルまつり」を開催して、ごみ問題に関する市民啓発に努めた。

【緑化環境部 清掃事業課】

(2) ごみ懇談会などの開催

市民参加による清掃行政の推進を図るため、ごみ懇談会を開催し、ごみ問題の実状やごみ減量・資源化促進の意義、手法などについて理解を求めた。

・開催回数 18回 参加者数 1,061人

【緑化環境部 清掃事業課】

3. ごみの適正処理

(1) 一般廃棄物の適正処理

ごみ収集状況

区分	家庭系(t)	事業系(t)	計(t)
可燃物	22,574	16,596	39,170
不燃物	10,406	2,844	13,250
資源	8,424	-	8,424
合計	41,404	19,440	60,844

し尿収集状況

- ・延収集件数 12,456件 収集量 8,554kℓ

身体障害者用移動トイレ更新整備

- ・身体障害者用トイレ設備車両の整備を行った。

一般廃棄物最終処分場整備事業

- ・現最終処分場の平成22年度供用終了に伴う、新最終処分場建設に向け基本計画を策定した。

【緑化環境部 清掃事業課】

第3節 緑の環境

1. 都市公園の整備

(1) 近隣公園・地区公園の整備

サケのふる里公園整備事業

- ・実施設計
- ・用地取得 0.36ha

【緑化環境部 公園と花の課】

(2) 総合公園の整備

緑ヶ丘公園整備事業

- ・施設整備 駐車場、照明灯、園路、休憩所 1.1ha

【緑化環境部 公園と花の課】

(3) 都市緑地・河川緑地の整備

中島壺園整備事業

- ・施設整備 園路、植栽 1.2ha

【緑化環境部 公園と花の課】

(4) 公園の整備・管理のあり方

公園遊具設置工事

- ・親子が一緒に楽しめる遊具を20公園に設置した。

【緑化環境部 公園と花の課】

2. 帯広の森の整備

(1) 帯広の森の用地取得と造成

帯広の森整備事業

用地取得 2.1ha

【緑化環境部 公園と花の課】

(2) 帯広の森の育成

児童・生徒等による植樹の実施

・参加者数 600人 植樹本数 850本

市民育樹祭の開催

・参加者数 1,000人 育樹対象本数 7,200本

【緑化環境部 公園と花の課】

(3) 市民利用の促進

自然観察会の開催

・帯広の森の自然等に対する理解を深めてもらうため、春季(5月)及び秋季(10月)に自然観察会を開催した。参加者数 49人

【緑化環境部 公園と花の課】

3. 美しい花と緑の環境づくり

(1) 公共・民有地緑化の推進(緑倍增計画の推進)

慶事記念樹の贈呈

・市民の慶事(誕生、住宅新築)に樹木(苗木)を贈呈し、民有地緑化を推進した。

誕生 299本 住宅新築 236本 還暦 15本 合計550本

【緑化環境部 公園と花の課】

(2) 緑道の整備

光南緑地(旧広尾線跡地)整備事業

・施設整備 園路、広場、休憩所、照明、植栽、水路

・用地取得 0.08ha

【緑化環境部 公園と花の課】

(3) 緑づくりの支援

緑の環境づくりの相談・指導

相談者数 (人)	内容別件数(件)				相談者の内訳(人)		
	病害	虫害	管理全般	小計	往診	電話	来館
995	82	149	868	1,099	61	540	394

緑化重点地区基本計画策定

・「緑の基本計画」に基づく「緑化重点地区」候補地である鉄南地区を対象として、鉄南地区緑化推進計画(案)策定のため、ワークショップ開催等を実施した。

【緑化環境部 公園と花の課】

(4) 市民参加による花と緑の環境づくり

フラワー通整備の促進

・市民参加を得てグリーンパーク周辺、公園大通、西3条通、柏林台通ほかにサルビアなどを植栽した。

整備路線延長 8,590m 使用花苗数 97,000株

花壇コンクールの実施

・市民参加を得て、植樹榭、学校などで花壇コンクールを実施した。

参加団体 74団体 花壇面積 12,648㎡

【緑化環境部 公園と花の課】

第4節 住宅・住宅地

1. 住宅の整備

(1) ユニバーサルデザイン住宅の普及

ユニバーサルデザイン住宅建設資金貸付金・住宅改造資金補助金

- ・貸付金 新築 15件
増改築 2件
融雪施設 52件
- ・補助金 住宅改造 32件

【都市開発部 建築指導課】

(2) 公営住宅の整備

公営住宅建替

団地名等	事業内容等	構造等
柏林台団地 (西町R6、7)	建設工事(17～18年度)	高層耐火構造8階建2棟80戸
(仮称)稲田団地	建設工事(17～18年度)	中層耐火構造5階建1棟45戸
柏林台団地 (西町外構)	外構整備及び旧市営住宅解体	
ストック総合 改善事業	柏林台団地南町個別改善3棟110戸 公園東町団地屋上防水改修 広野団地排水設備改善	
都心部 借上公営住宅整備	3カ所 114戸	
農村部 借上公営住宅整備	2カ所 12戸	

【都市開発部 住宅課】

2. 住宅地の整備

(1) 新市街地の整備促進

民間土地区画整理事業の普及、及び指導を実施した。

地区名	事業主体	施行面積(ha)	認可告示年月日	備考
稲田川西	組合	88.1	平成15年4月1日	施行中

【都市開発部 宅地開発課】

(2) 未利用地の利用促進

民間土地区画整理事業の普及、及び指導を実施した。

地区名	事業主体	施行面積 (ha)	認可告示年月日	備考
緑商第二	組合	34.6	平成 4 年 3 月 6 日	施行中
緑商第三	組合	4.8	平成 1 8 年 5 月 1 日	施行中

【都市開発部 宅地開発課】

3. 住居表示などの整備

(1) 住居表示の整備

分かりやすく住みよい街づくりのため、住居表示を整備し併せて字名改正を行った。

- ・実施場所 帯広市空港南町、南町、稲田町、川西町の一部
- ・実施面積 31.0ha

【建設部 管理課】

第5節 道路

1. 道路の整備

(1) 幹線道路の整備

路線名	施工箇所	延長 (m)	幅員 (m)
共栄通	西12条南1～3丁目	用地補償	
柏林台通	西16条南2丁目	ボックスカルバート	
玄武通	西15条北1～2丁目	160.21	18.00
弥生新道	西18条南40丁目	橋梁	34.00
学園通	西6～13条南41丁目	調査	
西16南1・西6号線	西16～17条北1丁目	用地補償	
光南・東3号甲線	東8～9条南21～22丁目	用地補償	
豊成西・12号線	稲田町南8線	用地補償	
西10号南線	西20条南1丁目	橋梁、60.80	30.00

【建設部 土木課】

(2) 生活道路の整備

路線名	施工箇所	延長 (m)	幅員 (m)
南町南9線線外	大空町10丁目外	284.00	2.00～10.00
西15南36・1号線	西15条南36丁目	124.36	12.00
西20南4・1号線	西20条南4丁目	155.75	16.00
南22丁目東線	東2～4条南22丁目	199.00	20.00
稲田町東・130号線外	稲田町基線、東1線	802.28	8.00～14.00

【建設部 土木課】

側溝整備

- ・市道西20南2・5号線外6路線 延長 732m

特殊舗装

- ・打替 市道西25条南2・10号線外26路線 延長 4,523m
- ・オーバーレイ 市道南13丁目西甲線外2路線 延長 1,025m

【建設部 道路維持課】

(3) 歩行者・自転車道の整備

路線名	施工箇所	延長 (m)	幅員 (m)
北栄グリーンロード	西9条南1～3丁目	242.00	36.36

【建設部 土木課】

第6節 河川

1. 治水対策の推進

(1) 治水対策の推進

大成川の整備 護岸整備 240.34m

【建設部 土木課】

2. 水源の保全

(1) 水源の保全

大正簡易水道整備事業

地区名	本年度施工事業量	進捗率	計画期間
大正	配水池 上屋1棟	93.89%	平成14年～平成18年
	配水管 7,238m		
	機械・電気計装 1式		

【農務部 農村整備課】

第7節 都市景観・農村景観

1. 都市景観づくり

(1) 公共施設の景観づくり

公共サインの整備

・良好な景観づくりを先導するため、公共施設表示板などの整備を進めた。

公共サイン整備件数 川西保育所外1ヶ所

公共施設等に係る景観形成の推進

・都市景観形成主要建築物を選定し、帯広市都市環境デザイン委員会において指導、助言を行った。

選定公共施設 1物件

【都市開発部 都市計画課】

(2) 市民の参加による景観づくり

まちづくりデザイン賞の実施

・市民協働のまちづくりを推進するため、市民のまちづくりへの関心を高め、将来のまちづくりを担う人材の育成を目標として、帯広市のまちづくりに対する提案、建造物等の建設や活用、まちづくりに関する活動を行う団体などを広く市民から募集し表彰した。

まちづくり部門	応募件数	2件	表彰件数	1件
まち育て部門(活動)	応募件数	1件	表彰件数	1件
まち育て部門(まちづくり提案)	応募件数	26件	表彰件数	6件

公園大通景観グレードアップ事業の実施

・市民と行政が協働し景観づくりを地域全体に広めていくために「公園大通グレードアップ事業」を実施した。

花壇整備	参加者数	180人	ワークショップの開催	3回
イルミネーション点灯		12～2月	氷みこしの実施	

子供たちによる遊び場づくり推進事業の実施

・地域の中において関係者が集い、ワークショップなどの手法を通じ子供たちの遊び場について整備の実現を図ることにより、市民の都市景観に対する愛着や関心を高め、市民参加のまちづくりを推進することを目的として、「子供たちによる遊び場づくり推進事業」を実施した。

実施場所 光南小学校グラウンド

【都市開発部 都市計画課】

第 4 章 生涯學習都市

第1節 幼児教育

1. 幼稚園教育の充実

(1) 就園の奨励

父母の経済的負担を軽減し、幼児の就園促進を図るとともに教員の研修機会を充実させるため、就園奨励費及び教材費、教員研修費を補助し、幼稚園教育の充実に努めた。

- ・就園奨励費支給者数 1,706人

【学校教育部 学校教育課】

第2節 小・中学校教育

1. 教育内容の充実

(1) 教育内容の充実

小中学校の適正規模適正配置基本方針策定にあたり、帯広市立小中学校適正配置等検討委員会を設置した。

- ・構成委員数 12人
- ・開催回数 9回

【学校教育部 総務課】

(2) 指導相談体制の充実

適応指導教室「ひろびろ」において、学校へ行けない子供達に対する教育相談や基本的な生活習慣及び学習活動についての指導・援助を行い、学校復帰や社会的な復帰を促した。

区 分	小4	中1	中2	中3	計
通級児童生徒(人)	2	1	5	7	15
教育相談(件)	22				

- ・指導の効果 中学生2人が完全復帰、2人が部分復帰
中学生卒業生7人が高等学校に進学

市内の小中学校14校に「心の教室相談員」を配置し、512件の教育相談活動を行い、子供たちの悩みに対応した。特に、不登校傾向の生徒98人に対応し、担任と連携して指導援助を行った。

【学校教育部 学校教育指導室】

2. 教育環境の整備

(1) 障害児教育の充実

新たに知的障害児学級を広野小学校と清川中学校に、情緒障害児学級を清川小学校に設置した。

障害児学級設置状況 ()内は実学校数

区 分	小学校			中学校		
	設置学校数 (校)	学級数 (学級)	児童数 (人)	設置学校数 (校)	学級数 (学級)	生徒数 (人)
知的障害	11	16	68	6	9	43
言語障害	3	(通級)	128	1	1	7
肢体不自由	1	1	5	1	1	1
情緒障害	5	13	78	5	5	23
病 弱	1	1	7	1	1	2
合 計	21 (13)	31	286	14 (9)	17	76

平成17年5月1日現在(病弱学級については年間実人数)

肢体不自由児の生活介助を行う介助員を3人増員するとともに、車椅子を使用し通学する児童生徒の生活介助を行う介助員の配置内容を拡充した。

【学校教育部 学校教育課】

(2) 開かれた学校づくり

地域に開かれた学校づくりを推進するため、学校評議員制度を導入した。

- ・小学校 26校 128人
- ・中学校 15校 74人
- ・高校 1校 5人

地域と連携して安全対策組織づくりに取り組む学校の支援を行った。

- ・地域連携モデル校 小学校10校

【学校教育部 総務課】

(3) 学校図書館の充実

蔵書を充実するとともに、専門員を配置した。

- ・図書整備数 6,621冊
- ・専門員の配置 小学校18校、中学校7校

学校図書館開放モデル事業を4校で実施した。

明和小学校、啓西小学校、つつじが丘小学校、大正小学校

【学校教育部 学校教育課】

(4) 教育設備の充実

教室用机・椅子の日本工業規格改正に伴い木製机・椅子に更新した。

- ・中学1年生分 1,703台

【学校教育部 総務課】

清川小学校スクールバス1台を老朽化に伴い更新した。

【学校教育部 学校教育課】

(5) 教職員研修機会の充実

十勝教育研修センターおける、十勝管内市町村が共同して行う教育に関する研修に参加した。

- ・参加研修講座数 39講座 受講者数 245人

個人研究サポ - トシステムの展開

教員の資質向上を目指し、研修機会・研修活動への支援を行い、各研究員の研修成果を冊子に収録し全教職員に配布するとともに報告会を開催し研究成果の還元を図った。

- ・個人研究サポ - ト 4人
- ・体験研究サポ - ト 6人
- ・地域教材研究サポ - ト 4人

【学校教育部 学校教育指導室】

(6) 学校給食の充実

給食の配食状況

区 分	配 食 数(食)
小 学 校	2,093,450
中 学 校	1,081,597
へき地保育所	29,282
父 母 試 食	3,379
施 設 見 学 者	592
職 員	14,585
合 計	3,222,885

ふるさと給食の実施

- ・全小中学校 11月14日～18日
- ・市民試食会 11月14日 参加者数 21人
- 11月18日 参加者数 26人

給食食器の更新

- ・汁用ボール 17,000個 箸 17,000膳

【学校教育部 学校給食共同調理場】

3. 社会変化に対応する教育の推進**(1) 国際化・情報化への対応**

清川小学校校内LAN整備を実施した。

【学校教育部 総務課】

ニューメディア利用教育推進

・学校における情報教育を推進するため、小学校10校においてコンピュータを100台増設し、現状の4人1台から2人1台化へ向けた整備を行った。

【学校教育部 学校教育課】

教育研究所に設置のパソコン10台を利用し、教職員の操作能力の向上を図るために「パソコン研修講座」を実施するとともに、各学校で独自にもつ研修事項に対する講座を多く実施した。

- ・講座回数 30回 受講者数 481人

繰り返し学習することにより、基礎的・基本的な学力の定着を図る補助教材として、小学校6学年分の算数ドリル型データベース教材を開発した。

- ・基礎・基本定着のためのデータベース教材 第1～6学年「算数」

小中学校での情報教育推進を支援するために、システム面・技術面でサポートする専門員を派遣した。

- ・小中学校情報教育専門員支援事業 小中学校41校 各2回派遣

【学校教育部 教育研究所】

小中学校へ国際交流員及び国際理解教育指導助手、中学校へ外国人専任講師の派遣を行った。

- ・小学校(国際理解教育指導助手) 1校平均 46.8時間
- ・中学校(外国人専任講師) 1年生平均 9.3時間
- 2年生平均 8.6時間
- 3年生平均 6.3時間

- ・国際交流員ほか外国人講師派遣事業 125時間

【学校教育部 学校教育指導室】

(2) 環境学習の充実

郷土を愛し、思いやりの心を育む教育活動の推進

- ・全26校の小学校4年生を対象とした郷土体験バス学習を行った。
- ・全15校の中学校2年生を対象とした自然体験バス学習を行った。
- ・帯広小学校をモデル校として、ふるさと学習を行った。

【学校教育部 学校教育指導室】

4. 教育施設の整備

(1) 校舎・体育館などの改築・改修整備

学校教育施設の整備・拡充を進め、教育環境の改善を図った。

- ・校舎 清川小学校 改築工事 平成17年6月供用開始
- ・屋体 清川小学校 改築工事 平成17年6月供用開始
- 東小学校 改築工事 平成18年3月供用開始
- ・グラウンド 光南小学校 改修工事
- 清川小学校 改修工事

新耐震基準施行以前に建設された校舎について、耐震診断を実施した。

- ・小学校 4校
- ・中学校 3校

新耐震基準施行以前に建設された屋体について、耐震補強実施設計を実施した。

- ・小学校 11校
- ・中学校 7校

【学校教育部 総務課】

第3節 高等学校教育

1. 進学機会の確保・充実

(1) 奨学制度などの充実

経済的な理由により、就学困難な者に対し奨学金を支給し、有用な人材を育成するとともに、あわせて父母の負担軽減を図った。また、公私立高校の授業料格差の解消を図り、教育機会の確保と父母の経済的負担の軽減に努めた。

区 分		支給人員(人)	月 額(円)
奨学金 (貸付)	継続	大 学 生	43 50,000
			7 30,000
		専 門 学 校 生	7 30,000
		高 校 生	6 7,000
	新規	大 学 生	15 50,000
			8 30,000
		専 門 学 校 生	5 30,000
	高 校 生	7 7,000	
私立高校生授業料補助 (給付)		210 5,000	
		61 3,500	

【学校教育部 学校教育課】

2. 市立帯広南商業高等学校の充実

(1) 地域と連携した教育推進

学校開放講座「パソコン入門講座」を開催し学習機会の提供に努め、地域との連携強化を図った。

- ・受講者数 30人
- ・開催講座数 1講座、5日間、1日・2時間

高校生の職業観や勤労観を培い、将来の進路選択に資するため、企業、商店、事業所等での就業体験（インターンシップ）を実施した。

- ・体験者 3年生全員（199人）と引率教員
- 道立高校授業料の改定に併せて授業料を改定した。

【学校教育部 帯広南商業高等学校】

第4節 高等教育・試験研究機関

1. 新しい大学の整備

(1) 新しい大学の整備

十勝大学設置促進期成会が実施する新たな大学設置に向けた取組を支援したほか、学校法人との協議や高等教育機関整備に係る資料・情報の収集を行った。

【企画部 企画課】

2. 帯広畜産大学などの整備

(1) 帯広畜産大学の整備・拡充

帯広畜産大学整備拡充促進期成会の取組を支援したほか、帯広畜産大学と連携を深めるために「包括的連携協力に関する協定」を締結した。

【企画部 企画課】

第5節 生涯学習

1. 生涯学習推進体制の整備

(1) 生涯学習推進体制の整備

帯広市生涯学習推進本部を中心に、関係機関・団体などと連携を図りながら推進体制の整備に努めた。

【生涯学習部 生涯学習課】

2. 生涯学習活動への支援

(1) 学習機会の提供

市民の多様な学習要望に応えるため、関係機関・団体と連携を図り、学習機会の提供に努めた。

- ・生涯学習フェスティバルの開催

実施事業数	89件	参加団体数	関係機関・団体	41団体
			関係課・館	12課

・各種講座の状況

講座・教室等の名称	講座・科目数	参加者数	備 考
ふれあい市政講座 (出前講座)	49講座	54,108人	721回開催
放送大学 (帯広学習室)	89科目	738人	
コミュニティ講座	184講座	13,111人	
市民大学講座	21講座	1,014人	
高齢者学級 (寿学級)	延 47回	在籍者数 223人	1年生 109人 2年生 114人

【生涯学習部 生涯学習課】

百年記念館活動

・利用状況	利用者数	112,328人
・広域事業の実施		
第24回郷土美術展		1,408人
特別企画展「写真が語るとかち戦後の暮らし」		2,974人
収蔵作品展「木のある風景」		850人
移動展「木のある風景とラブバード」		
芽室町、浦幌町		400人
自然観察会	4回	53人
郷土学習見学会	2回	56人
博物館講座	12回	522人
古文書教室	1回	27人
特別講座		
版画講座	1回	13人
親子陶芸(七宝)講座	3回	174人
ラブバード講座	8回	240人
ロビーコンサート	15回	1,488人
・陶芸講座、夜間陶芸講座、希望講座の実施	受講者数	2,350人

【生涯学習部 百年記念館】

児童会館活動

・子供たちの科学する心や創造性・社会性を育むため、日帰り・宿泊学習のほか科学クラブや文化クラブなどの事業を行った。

・施設の利用状況

施設名	利用者数(人)
児童会館	109,612
野草園	12,708
岩内自然の村	3,965

・科学関連事業

科学展示室入場者		25,285人
プラネタリウム入場者		12,570人
宿泊学習・日帰り理科学習	88校	3,237人
星の観察会	8回	208人

磯の貝の観察会	7月23日	56人
小学生科学クラブ	10回	122人
親子科学実験教室	4回	84人
少年少女発明クラブ	24回	375人
親と子の科学あそび	4回	169人
青少年のための科学の祭典	10月9日	2,901人
・文化関連事業		
宿泊研修	25団体	914人
わくわくこどもまつり	5月5日	1,354人
氷まつり協賛行事	1月28・29日	3,474人
人形劇公演	9回	456人
親と子のエンジョイ将棋	10回	347人
こども初心者囲碁教室	10回	118人
親と子のおもしろ教室	8回	440人
図画工作クラブ	6回	72人
文化講座(イラスト達人講座)	8回	100人
ぐるっと緑ヶ丘クイズ&スタンプラリー		257人
星空のコンサート	4回	222人
全十勝小中学生将棋大会	3月26日	116人
帯広児童劇団公演	12月4日	958人
・国際協力事業		
JICA理科実験教育研修コースの実施	4カ国 13日間	192人
(スリランカ・ネパール・バングラデシュ・パキスタン)		
・野草園関連事業		
野草園の集い	4月29日	165人
「野草園の花」作品展	7月27～31日	369人
・岩内自然の村関連事業		
ふれあいファーム	5月～9月 3回	396人

【生涯学習部 児童会館】

動物園活動

・総入園者数			
	134,700人		
大人	49,106人		
高校生	1,043人		
高齢者	999人		
無料入園者	78,836人		
冬季特別開園	4,716人		
・教育事業			
総合学習(教職員研修・博物館実習含)受入	延44日	10小中学校	9団体
おやこ動物園教室	2回		16組
1日飼育係(小学校低・高学年)	8回		81人
1日飼育係(中・高校生)	7回		7人
1日飼育係(大人)	14回		14人

裏側探検隊	2回	73人
スポットガイド	随時実施	
こども動物園団体利用	60組	2,519人
ふれあい(こども動物園個人参加)	毎日実施	
企画展(トリ展)	4月29日~5月15日	
企画展(サンショウウオ展)	7月29日~8月21日	
夏休みおやこ絵画教室		40人
ミニミニガイド発行	8回発行	
アニマル通信	2回発行	
幼児・児童動物画コンクール	427人(13枚道大会参加)	入賞166点
全道動物画コンクール	全道104点中13点応募	入賞2点
夜間開園	7月29日~7月31日	2,637人
夜の動物園(スポットガイド)	7月29日~7月31日	
動物園講座交通安全教室	1回	30人
動物園アート講座ストーンペイント	1回	60人
動物園アート講座ワイヤーアート	2回	110人
動物愛称募集 カリフォルニアアシカ1頭・アカカンガルー2頭		
どうしんわくわく体験inおびひろ動物園		2日
おびひろ動物園ホームページ	月1回更新	

【生涯学習部 動物園】

(2) 人材の養成・活用

生涯学習コーディネーターの養成

・養成過程(2年) 参加者数 6人

【生涯学習部 生涯学習課】

(3) 学習情報の提供

地域の情報収集・提供システムを整備し、指導者情報など生涯学習に関する情報の提供に努めた。また、収集したデータは、北のくらし情報システム等を利用して提供した。

【生涯学習部 生涯学習課】

3. 青少年の健全育成

(1) 家庭教育の充実

家庭教育学級の推進

22学級 学級生 415人

【生涯学習部 女性青少年課】

(2) 体験活動機会の充実

帯広市青少年派遣研修事業

・派遣先 松崎町・愛知県

小学生6人、中学生4人、教職員2人、事務局1人

松崎町教育視察団受入

小学生8人、中学生3人、教職員3人、事務局1人

各種青少年健全育成事業・研修会

・子ども王国(プラザまつり)		900人
・心の教育推進事業(創作活動)		3回
・十勝子ども雪合戦大会	108チーム	639人
・中学生からのメッセージ	16校	16人
・体育館開放事業	26校	9,387人
・わくわくランド	9回	347人
大人の集い	参加者数	1,246人

【生涯学習部 女性青少年課】

(3) 世代間交流の促進

子どもを育む環境づくり事業

・小学校を核として、人づき合い等を学び、コミュニケーション能力を育むことを目的に、放課後や週休日などに児童が地域住民や異学年の児童と交流する機会・場所を設けた。

つつじが丘小学校・光南小学校	延参加者数	2,165人
----------------	-------	--------

(4) 指導者の養成

北海道子ども会育成研究協議会(釧路市)	出席者数	5人
地域子ども会リーダー宿泊研修会	4回	190人
ジュニアリーダー養成講座	登録者数	32人

【生涯学習部 女性青少年課】

(5) 健全育成ネットワークづくり

青少年の健全育成をめざし、関係団体の連携強化を図るため、小学校区毎にフォーラムを開催し、情報交換や課題検討を行った。

16地区	695人
------	------

【生涯学習部 女性青少年課】

子どものための地域づくり

・各地域で望ましい形で子どものための地域づくりを進めるため、地域の活動状況等について全市的な情報を収集分析し、取組指針を作成した。

地域連携検討会議	7回	
推進フォーラム開催	1回	160人

【生涯学習部 生涯学習課】

(6) 非行の防止

指導員及び指導協力員等による街頭指導並びに相談員による青少年の悩み相談を実施し、非行防止及び環境浄化に努め、青少年の健全育成の助長を図った。

街頭指導	699人	相談指導	290回
------	------	------	------

【生涯学習部 青少年センター】

4. 男女共同参画社会づくり

(1) 意識の啓発

女性学級の推進	3学級	学級生	65人
男女共同参画セミナーの開催	1回	参加者数	170人
男女共同参画情報誌の発行	2回		

【生涯学習部 女性青少年課】

(2) 参画の促進

男女共同参画派遣研修			2人
男女共同参画推進支援事業	1団体	参加者数	86人
男女共同参画講座	2コース	受講者数	98人
男性セミナーの開催	1コース	受講者数	16人

【生涯学習部 女性青少年課】

(3) 環境の整備

女性情報コーナーの充実	利用者数	5,853人
女性のためのなんでも相談所		4回

男女共同参画講座修了者の中から応募があった24人が男女共同参画推進員として市民協働のパートナーとなり活動した。

【生涯学習部 女性青少年課】

5. 生涯学習施設の整備

(1) 図書館の整備

新図書館建設工事

- 平成17年度中に全ての工事が完了し、平成18年3月3日に開館。

所在地 帯広市西2条南14丁目3番地

規模 鉄骨・鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造

地下1階地上3階建 6,544.53㎡

敷地 7,260.48㎡

蔵書冊数 340,781冊(平成17年度受入 40,155冊)

- 利用状況 (平成17年11月10日～平成18年3月2日迄休館)

利用区分	利用者数(人)	利用冊数(冊)
館内(本館)	83,117	280,236
<うち新館開館後>	<20,953>	<69,447>
館外(移動図書館)	33,351	67,783
内 訳	市民文庫	7,396
	コミセン図書室	13,885
	学校図書室	3,195
	移動ステーション	8,875
合計	116,468	348,019

(うち夜間開館実績 利用者数 3,135人 利用冊数 9,409冊)

(十勝管内広域個人貸出実績 利用者数 2,294人 利用冊数 7,741冊)

上記2件は、いずれも旧館分(平成17年4月～11月)の実績

視聴覚教材利用件数<うち新館開館後の件数>

・16mmフィルム、映写機等機材	17件<	14件>
・ビデオテープ	2,812件<	1,534件>
・DVDビデオ	2,717件<	2,320件>
・紙芝居	3,986件	
レファレンス(相談業務)	件数	4,711件
	<うち新館開館後の件数	1,038件>

図書館刊行物

・市民文芸	45号
・読書感想文集	45号
・帯広叢書	54・55号
・たのしい童話	23号

【生涯学習部 図書館】

(2) 動物園の整備

こども動物園の整備

- ・施設の利便性を高めるため、こども動物園広場、園路及び作業路を整備した。

フラミンゴ舎整備

- ・防鳥ネット張りの獣舎とし、ゆっくり快適に見学できるよう、ネット内の園路に休憩用ベンチを設置した。

空中観覧車ゴンドラ更新

【生涯学習部 動物園】

(3) 百年記念館の整備

アイヌ民族文化情報センター「リウカ」の整備

- ・アイヌ民族文化の普及、啓発、伝承、保存等の活動の拠点として、平成18年1月に開設した。
- ・「アイヌ民具調査」、「アイヌ無形文化聞き取り調査」、「アイヌ民族関係の図書の整備」、「ホームページ開設」など、アイヌ民族文化の調査研究と普及・啓発活動を行った。

【生涯学習部 百年記念館】

第6節 芸術・文化

1. 自主的文化活動の促進

(1) 自主活動の促進

おびひろ市民芸術祭	22,329人
おびひろ市民ミュージカル「ゴースト・ビー・ア・スター」	1,178人
新人演奏会	193人
舞台製作ワークショップ	21人
とかちサークル写真展	692人
全十勝書道作品展	1,007人
帯広市民劇場公演	7,322人

帯広市文化賞・文化奨励賞
学校文化奨励賞

2個人
3個人、1団体
【生涯学習部 文化課】

2. 鑑賞機会の拡充

(1) 鑑賞機会の拡充

小中学生のための札幌コンサート	2,188人
親と子のわくわく音楽会	1,344人
シュトゥットガルト室内管弦楽団コンサート	530人
ハートフルミュージカル「ミスターZOO」	642人
日本の伝統芸術シリーズvol. 「函館子ども歌舞伎」	304人
東京都交響楽団特別演奏会	1,410人
帯広美術館特別企画展「アンデルセン生誕200年展」	7,881人
中学校伝統芸能鑑賞事業	4校 1,760人

【生涯学習部 文化課】

3. 文化環境の充実

(1) 文化環境の充実

市民文化ホールの改修
・外壁、通路ロードヒーティング、空調、舞台照明等の改修

【生涯学習部 文化課】

4. 歴史的遺産の保存・活用

(1) 歴史的建築物などの保存

古建築調査報告書「旧横瀬邸」

【生涯学習部 文化課】

(2) 埋蔵文化財の保護・活用

大正遺跡の発掘調査
・大正3・7遺跡出土品(約9万点の土器・石器が出土)等の整理作業及び調査報告書の作成を行った。
帯広百年記念館埋蔵文化財センターの整備
・埋蔵文化財発掘調査業務で出土した遺物・関連資料の整理作業及び収蔵保管の拠点施設として整備し、平成17年11月開館した。
・出土品等の市民への公開を行った。

【生涯学習部 百年記念館】

第7節 スポーツ

1. 生涯スポーツ活動の推進

(1) スポーツ機会の提供

各種スポーツ教室・講習会の開催
・44事業 18,559人

体育施設利用状況

施設名	利用者数(人)
総合体育館	135,322
帯広の森体育館	96,261
帯広の森研修センター	16,637
帯広の森スピードスケート場	54,858
帯広の森アイスアリーナ	85,153
帯広の森第二アイスアリーナ	45,362
帯広の森スポーツセンター	61,897
帯広の森市民プール	147,915
帯広の森野球場	62,938
帯広の森陸上競技場	50,176
帯広の森弓道場・アーチェリー場	22,577
帯広の森テニスコート	109,539
帯広の森球技場	30,213
屋外運動施設	362,201
計	1,281,049

【生涯学習部 スポーツ課】

(2) 指導者の育成

関係機関・団体と協力し、プロスポーツチーム指導者を招き指導者教室を開催した。

- ・開催回数 1回(サッカー) 参加者数 27人

【生涯学習部 スポーツ課】

(3) スポーツ団体などの育成

スポーツ少年団活動に対する補助

- ・少年団登録数 96団体、指導者 462人、団員 2,644人

帯広市体育連盟(加盟43団体)及び帯広市スポーツ少年団本部に対する補助

全道、全国大会等派遣補助

- ・大会派遣費補助件数 85件

【生涯学習部 スポーツ課】

(4) スポーツ・レクリエーションの振興

スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の授与

- ・スポーツ賞 4個人、2団体
- ・スポーツ奨励賞 9個人、6団体

地域スポーツ振興事業

- ・開催回数 53回、延参加者数 3,630人

総合型地域スポーツクラブの育成

- ・十勝圏広域スポーツセンター機能整備協議会を通じ、光南SHCクラブを育成・支援

帯広市健康スポーツ推進委員会事業

- ・秋季体育祭 10,682人
- ・冬季スポーツ事業 772人
- ・マイスポーツ事業 642人

ゴルゲート市民交流事業

・開催地 西小、啓西小、啓北小各3回、延参加者数 255人

十勝大平原クロスカントリースキー大会の開催

・開催地 岩内周辺特設コース 参加者数 588人

【生涯学習部 スポーツ課】

2. 競技スポーツの振興

(1) スポーツ大会の誘致

国内スポーツ大会の誘致

・全道、全国大会開催運営補助 32件

プロ野球パ・リーグ公式戦の開催

日本学生氷上競技選手権大会の開催

ツール・ド・北海道国際大会の開催

【生涯学習部 スポーツ課】

(2) 国内外とのスポーツ交流

日韓スピードスケート交歓交流競技大会の開催

・開催地 帯広 参加者数 60人

帯広・韓国アイスホッケー親善交流大会の開催

・開催地 ソウル 参加者数 60人

【生涯学習部 スポーツ課】

(3) スケート競技の振興

スピードスケート講習会の開催

・講師 40人 参加者数 578人

【生涯学習部 スポーツ課】

(4) スポーツ合宿の誘致

横浜Fマリノスジュニアユースの合宿誘致

【生涯学習部 スポーツ課】

3. スポーツ施設の充実

(1) 帯広の森運動施設の整備

(仮称)新帯広の森屋内スピードスケート場の基本設計を行った。

帯広の森運動施設の排水設備、野球場の内野フェンスの改修を行った。

【生涯学習部 スポーツ課】

(2) 学校施設の地域開放

地域住民等が行うスポーツ及びレクリエーション活動のために屋内、屋外運動場及び光南小学校屋内温水プールの開放事業を行った。

小学校26校 中学校3校 計29校 登録団体320団体 登録者数6,058人

延利用者数 屋内・屋外運動場 183,185人 光南小学校温水プール 9,744人

【生涯学習部 スポーツ課】

第 5 章 広域連携都市

第1節 総合交通体系

1. 都市内道路交通網の整備

(1) 駐車場の設置促進

全ての市営駐車場で最初の30分の料金を無料としているほか、中央・駅北地下駐車場の定期駐車料金を引き続き月1万円として、利用促進を図った。

また、駅南・中央第2駐車場では引き続き24時間入出庫可能にして、利便性を高めた。

市営駐車場の利用状況

区 分		利用台数(台)	1日当たり利用台数(台)	回転数(回転)
中 央	時間駐車	11,646	32	0.08
	定期駐車	93,586	256	0.63
	小 計	105,232	288	0.71
中央第2	時間駐車	85,062	233	3.88
駅 南	時間駐車	121,365	333	13.30
駅北地下	時間駐車	107,134	294	1.47
	定期駐車	33,634	92	0.46
	小 計	140,768	386	1.93
合 計		452,427	1,240	-

【商工観光部 商業課】

2. 空港の整備

(1) 滑走路などの整備

○航空灯火並びに電源設備改良の実施

- ・滑走路警戒灯設置 一式
- ・電源設備改良 一式
- ・発電機更新 一式

【商工観光部 空港事務所】

(2) 駐車場の整備

○駐車場拡張整備

- ・154台分(4,218㎡)

【商工観光部 空港事務所】

(3) 消防・除雪体制の充実

○スノースーパー除雪車更新 1台

【商工観光部 空港事務所】

3. 航空路線網の充実

(1) 新規航空路線の開設

国内主要地域との路線開設に係る可能性調査を行った。

【商工観光部 空港事務所】

(2) 航空路線網の充実

○航空会社に対し、東京線は現行の4便体制の維持(JAL)及びダブルトラッキング実現(ANA及びAIR DO)、大阪線は季節運航から通年運航の復活及び2便体制の実現、名古屋線は2便体制の実現と団体客への対応可能な機材就航等の要望活動を行った。

【商工観光部 空港事務所】

(3) 空港利用の促進

- 引き続き着陸料の3分の1を軽減した。
- 国内外チャーター便着陸料は2分の1の減額措置を行なった。
- 空港利用拡大方策について関係機関と協議を行った。
- 空港利用状況

・ 運航便及び乗降客数

定期便（東京便）		定期便（大阪便）		定期便（名古屋便）		定期便（函館便）	
乗降客数	搭乗率	乗降客数	搭乗率	乗降客数	搭乗率	乗降客数	搭乗率
541,619	64.4%	30,205	72.9%	27,829	76.5%	8,328	45.8%
定期便（新千歳便）		定期便全体		チャーター便		ダイバート・臨時便	
乗降客数	搭乗率	乗降客数	搭乗率	乗降客数	便数	乗降客数	便数
2,475	31.8%	610,456	64.6%	55,930	343	857	6

・ 航空貨物及び航空郵便取扱量

貨物 (kg)			郵便 (kg)		
積	卸	計	積	卸	計
4,321,636	2,923,327	7,244,963	593,552	2,682,183	3,275,735

○着陸回数

定期便	チャーター便	臨時便・ ダイバート便	民間機	国有機	合計
2,661 便	176 便	6 便	238 便	3,884 便	6,965 便

【商工観光部 空港事務所】

(4) 地域航空ネットワークの形成

10月1日に帯広 - 新千歳線が開設した。

1日2往復 (株)エアトランセ 使用機材 B1900D 18人乗り

【商工観光部 空港事務所】

4. とち帯広空港の国際化の環境整備

(1) 出入国管理・検疫施設の誘致

道内関係機関と連携し、国に対して整備拡充を図る要望活動を行った。

【商工観光部 空港事務所】

(2) 国際化の可能性調査

国際チャーター便の定期的就航を図るため、観光機関と連携した海外観光客誘致活動を実施し、国際空港化への環境整備に取り組んだ。

道内他空港の国際便対応施設について調査を実施し、国際便対応施設整備の可能性調査を行った。

【商工観光部 空港事務所】

(3) 国際チャーター便の促進

海外客による国際チャーター便332便(54,302人)と、邦人による国際チャーター便5便(794人)が就航した。

空港内に通訳を配置し、海外旅行客に対し、宿泊・観光・飲食関係の案内と出入国のケアを行った。

【商工観光部 空港事務所】

5. バス交通網の充実

(1) バス路線網の充実

路線バスの運行維持を図るため、国・道と共にバス事業者に対して路線運行維持費を補助した。

- ・補助対象バス事業者数 2社 補助対象路線数 38系統

【商工観光部 商業課】

(2) 公共交通機関のあり方

川西地区において、10月より予約制の乗合バスの運行を開始した。

大正地区の予約制乗合タクシーについて、引き続き運行した。

【商工観光部 商業課】

第2節 広域連携

1. 中核都市圏の振興

(1) 中核都市圏の振興

音更町、芽室町、幕別町とともに帯広圏地方拠点都市地域基本計画及び関連事業の円滑な推進に努めた。

【企画部 企画課】

2. 十勝圏の振興

(1) 第2次十勝ふるさと市町村圏計画の推進等

十勝圏複合事務組合と連携を図りながら、地域プロジェクトの取組など広域行政の推進に努めた。また、十勝圏活性化推進期成会を通じ、関係町村とともに関係機関等に諸課題の対応に向けて働きかけた。

【企画部 企画課】

第3節 国内交流

1. 姉妹都市交流の推進

(1) 姉妹都市交流の推進

開拓姉妹都市の静岡県松崎町、観光文化姉妹都市の大分市、産業文化姉妹都市の徳島市と行政のみならず文化、物産、児童・生徒交流など、市民レベルでの幅広い交流を行った。

【企画部 国際交流課、商工観光部 観光課、生涯学習部 女性青少年課】

2. 地域間交流の促進

(1) 地域間の交流

首都圏や関西圏との人的交流や経済交流の促進に努めた。

- ・東京帯広会 「春・秋の集い」等で帯広十勝の物産紹介・情報交換。郷土訪問ツアーの実施。
- ・関西帯広会 経済交流、地場産品紹介、郷土訪問ツアーの企画・実施（隔年で実施）。

【企画部 国際交流課】

第4節 国際交流・国際協力

1. 国際交流の推進

(1) 国際交流の環境づくり

小学校等への国際交流員の派遣、小中学生を対象とした国際理解促進事業の実施、幼児対象の絵本読み語り事業など、学校や地域において諸外国の方々との交流機会を拡充するなど、国際交流の環境づくりに努めた。

・国際交流員の派遣	48回	延派遣者数	98人
・絵本の読み語り事業	3回	延参加者数	88人

【企画部 国際交流課】

(2) 都市間交流の推進

国際姉妹都市米国スワード市、国際友好都市中国朝陽市の両市と高校生相互派遣事業を実施し、相互交流の促進に努めた。

・スワード市	派遣高校生数	帯広市より4人、スワード市より3人
・朝陽市	派遣高校生数	帯広市より3人、朝陽市より4人

帯広市と朝陽市の友好都市締結5周年を記念して公式訪問団の相互派遣を行うことで今後の経済交流の発展を促した。

マディソン市との市民レベルの自立・自発的交流活動を促すとともに、帯広・マディソン交流協会の設立を支援し、姉妹都市締結に向けた交流環境の整備を図った。

【企画部 国際交流課】

2. 国際協力の推進

(1) 農業技術協力の推進

帯広国際センターを中心に、帯広畜産大学、国立並びに道立試験研究機関、企業などと連携し、農業技術や地域技術を生かした国際協力・技術協力の促進に努めた。また、国際友好都市中国朝陽市から農業研修生を受入れた。

・JICA研修員受入	157人(集団コースのみ)
・中国朝陽市農業研修生受入	3人
・中国朝陽市短期専門家派遣	1人

【企画部 国際交流課】

3. 国際化の環境づくり

(1) 外国人が暮らしやすい環境づくり

在住外国人のための外国語情報紙の発行や在住外国人の生活相談など、外国人が暮らしやすい環境づくりに努めた。

【企画部 国際交流課】

(2) 留学生の受け入れの促進

帯広市在住の留学生で組織する「外国人留学生まちづくりを考える会」と連携し、国際交流活動の企画、市民との交流機会の拡充を図るとともに、地域住民としてまちづくりに対する提言を受けた。

【企画部 国際交流課】

(3) ネットワーク化の推進

十勝地域において国際化推進事業を展開している十勝インターナショナル協会と連携し、「世界の友達」「国際フェスタ in 十勝」などの事業を実施し、国際協力・国際交流の推進や国際感覚の優れた市民の育成などに努めたほか、市町村間や様々な団体とのネットワークづくりを推進した。

【企画部 国際交流課】

第5節 情報化

1. 行政の情報化

(1) 行政情報システムの充実

ITを活用した市民サービスの向上を図るため、インターネットによる施設の空き情報の提供と、利用申請の受付を行う施設予約システムの開発を行った。

・対象施設 とかちプラザ、市民文化ホール、百年記念館

電子自治体の実現に必要なコンピュータシステムを、北海道と各市町村が共同で開発、運用を行う北海道電子自治体プラットフォーム構築事業(HARP)に参加し、共通基盤と各種行政手続きをインターネットから受付ける電子申請システムの開発を行った。

【総務部 情報システム課】

2. 地域情報化の推進

(1) 学校施設などの情報化

地域の教育・行政・保健・福祉・防災等の高度な情報化施策に必要な情報通信基盤として、5施設における施設内LAN及び市庁舎と各施設間の超高速・大容量のネットワークの整備を行った。

・整備施設 新図書館、すずらん保育所、とかちプラザ、市民文化ホール、百年記念館

【総務部 情報システム課】

第6章 市民自治と自治体経営

第1節 市民自治と自治体経営

1. 情報の公開・提供

(1) 情報公開の推進

情報公開条例により、情報の公開を推進した。

- ・情報公開請求件数 52件（うち2件取り下げ）
- ・決定内訳 全部開示33件 一部開示14件 非開示3件（うち不存在3件）

【総務部 庶務課】

(2) 個人情報・プライバシーの保護

個人情報保護条例の適正な運用に努めた。また、本人に対し個人情報を開示した。

- ・個人情報開示請求件数 2件
- ・決定内訳 一部開示2件

【総務部 庶務課】

2. 広報活動の充実

(1) 広報の充実

市民が必要としている情報や市の施策・方針などを広く周知し理解と協力を得るため、広報紙本来の見やすさ、読みやすさなど市民の視点にたった編集作業を行い、広報おびひろを年12回発行し、市民に配布した。

市勢要覧を作成し、市外へのPRに努めた。

【企画部 広報課】

(2) 情報メディアを活用した情報提供

テレビ、ラジオ、市のホームページなどを活用し、行政の情報を広く周知した。

【企画部 広報課】

3. 広聴活動の充実

(1) 幅広い広聴活動の推進

市民の声

陳情・要望		市長への手紙		電話・来庁・Eメール等		市長とふれあいトーク	
件数	項目数	通数	項目数	件数	項目数	回数	項目数
100件	361件	277通	421件	168件	188件	12回	48件

市民相談件数

一般相談	特別相談	行政相談	合計
2,248件	429件	168件	2,845件

【企画部 住民活動課】

4. 市民参画のしくみづくり

(1) 市民と協働のまちづくり

コミュニティセンターに掲示板や簡易印刷機などを備えた「協働コーナー」を設置（5カ所）したほか、協働の定着と拡大を推進する支援策などについて、市民委員会を設置し検討を行った。

【企画部 住民活動課】

5. 平和と人権

(1) 平和事業の推進

平和の絵募集と平和カレンダーの作成
原爆パネル移動展の実施
「語り継ぐ核兵器廃絶・平和展」の実施

【企画部 住民活動課】

6. 計画的、総合的な施策推進

(1) 計画行政の推進

総合計画を効率的・効果的に推進するため、政策・施策評価システムを試行的に導入し、市民意向調査や成果指標を活用して政策や施策の進捗状況の評価を行った。結果は「まちづくり通信2005」として取りまとめ、ホームページや広報おびひろに掲載するなど、市民への情報提供に努めた。

【企画部 企画課】

(2) 行政サービスの向上

ISO9001の認証登録を継続した。

【総務部 行財政改革推進事務局】

7. 行財政改革の推進

(1) 事務事業の見直し

505件の事務事業評価を実施し、事業の必要性や成果・効果について検証、評価を行い、事業の改善、見直しを行った。

【総務部 行財政改革推進事務局】

(2) 民間活力の活用

「公の施設」の管理運営について、民間の能力・ノウハウを活用し、効果的・効率的な運営と多様化する住民サービスへの対応、サービス向上を図るため、児童保育センター及びへき地保育所28カ所で指定管理者制度を導入した。

【総務部 行財政改革推進事務局】

(3) 職員定数の適正化

電算処理業務や公害防止監視・測定業務の見直し、定年退職者の約50%不補充などにより、職員を29人減員した。

【総務部 行財政改革推進事務局】

(4) 財政の健全化

情報公開・説明責任の立場及び行財政改革について市民理解の促進のため「帯広市の台所事情」を作成し、説明会の開催等、財政情報の積極的な公開に努めた。

【財政部 財政課】

小中学生を対象とした租税教育を帯広税務署と連携し実施した。

【財政部 市民税課】

8. 地方分権への対応

(1) 地方自治の確立

住民サービスの向上や、効率的・効果的な行財政運営を図るため、新たな広域連携について管内町村等と検討を進めた。

【企画部 企画課】

(2) 地方分権への対応

協働まちづくりの基盤づくりのため、市民検討委員会及び庁内検討委員会を設置し、協働のまちづくりに必要な市民参加のルールや行政運営の基本事項を定める(仮称)まちづくり基本条例の制定に向けた検討を行った。

【企画部 企画課】

第2節 コミュニティの形成

1. コミュニティ活動の促進

(1) コミュニティ意識の醸成

町内会自治活動費の交付 761件(町内会)

【企画部 住民活動課】

(2) 特定非営利活動(NPO活動)の促進

帯広市内のNPO法人認証団体数 32団体(平成18年3月末現在)

【企画部 住民活動課】

2. コミュニティの整備

(1) コミュニティ施設の整備

施設の改修

- ・ 野外緑化工事 1カ所
- ・ ガス管改修工事 8カ所
- ・ ボイラー室地下ピット改修工事 1カ所
- ・ 解体工事 1カ所
- ・ 玄関改修工事 1カ所
- ・ 駐車場改修工事 2カ所
- ・ ボイラー改修工事 1カ所
- ・ 野外フェンス改修工事 1カ所

【企画部 住民活動課】